

卒業生のキャリア状況調査に対する アンケート結果について

【卒業生対象】

本アンケートは、東京農業大学の卒業生及び卒業生の就職先企業における働く上で必要とされている能力や経験、本学に対するお考え等をお伺いし、その結果を本学の教育改革に適切に反映して、教育の質向上を図ることを目的としたものです。

■ 調査概要

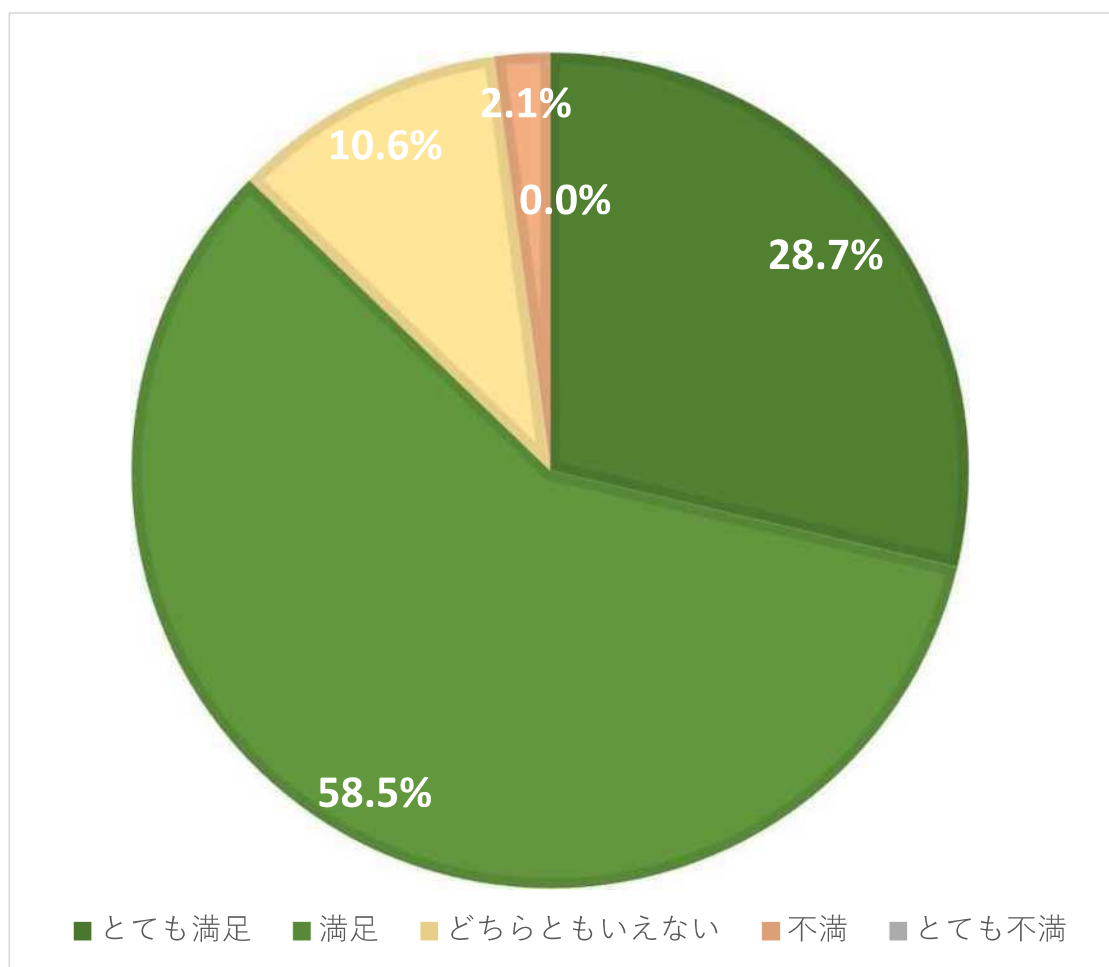
調査対象	令和5年度卒生のうち、進路報告登録時において「大学行事への協力依頼があった場合協力する」と意思表示を頂き、かつメールアドレスが判明している方
調査期間	2025年5月15日～6月14日（30日間）
調査方法	①作成したメーリングリストに基づき、アンケート協力依頼メールを配信 ②依頼メール記載のURLへアクセス頂き、回答 ※Microsoft Formsを利用 ※無記名方式にて実施
調査依頼数	486件（前回※1：468件）
回答数	94件（前回：95件）
回答率	19.34%（前回：20.3%）
質問項目数	33問（前回：31問）
平均回答時間	7分07秒（前回：2分56秒）

※1：2024年5月15日～2024年6月14日実施の前回調査を指す

FACE1. 卒業学部・学科／研究科・専攻をお知らせください。

学部・学科／研究科・専攻	比率
応用生物科学部_栄養科学科	5.3%
応用生物科学部_醸造科学科	4.3%
応用生物科学部_食品安全健康学科	1.1%
応用生物科学部_農芸化学科	1.1%
国際食料情報学部_バイオビジネス学科	4.3%
国際食料情報学部_国際食農科学科	3.2%
国際食料情報学部_国際農業開発学科	2.1%
国際食料情報学部_食料環境経済学科	3.2%
生物産業学部_海洋水産学科	3.2%
生物産業学部_自然資源経営学科	1.1%
生物産業学部_食香粧化学科	2.1%
生物産業学部_北方圏農学科	6.4%
生命科学部_バイオサイエンス学科	1.1%
生命科学部_分子生命化学科	1.1%
生命科学部_分子微生物学科	4.3%
地域環境科学部_森林総合科学科	3.2%
地域環境科学部_生産環境工学科	5.3%
地域環境科学部_造園科学科	2.1%
地域環境科学部_地域創成科学科	6.4%
農学部_デザイン農学科	1.1%
農学部_生物資源開発学科	5.3%
農学部_動物科学科	3.2%
農学部_農学科	5.3%
大学院_応用生物科学研究科_醸造学専攻	1.1%
大学院_応用生物科学研究科_食品安全健康学専攻	1.1%
大学院_応用生物科学研究科_農芸化学専攻	2.1%
大学院_国際食料農業科学研究科_国際アグリビジネス学専攻	2.1%
大学院_国際食料農業科学研究科_国際農業開発学専攻	3.2%
大学院_国際食料農業科学研究科_農業経済学専攻	1.1%
大学院_生命科学研究科_バイオサイエンス専攻	3.2%
大学院_生命科学研究科_分子生命化学専攻	2.1%
大学院_地域環境科学研究科_造園学専攻	3.2%
大学院_地域環境科学研究科_地域創成科学専攻	1.1%
大学院_地域環境科学研究科_農業工学専攻	3.2%
大学院_農学研究科_動物科学専攻	1.1%
合計	100.0%

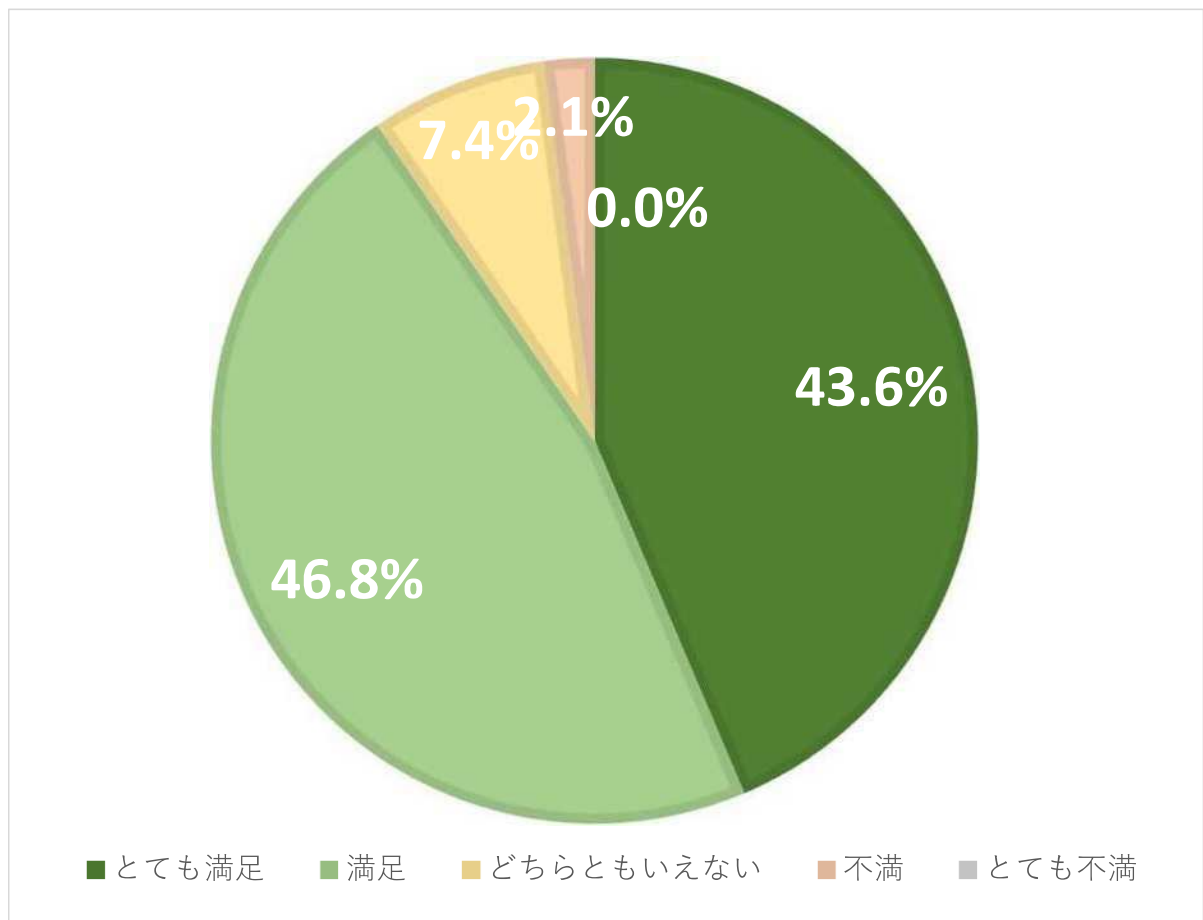
Q1. 本学の教育・研究は満足 of いくものでしたか。



項目	合計	比率
とても満足	27名	28.7%
満足	55名	58.5%
どちらともいえない	10名	10.6%
不満	2名	2.1%
とても不満	0名	0.0%
合計	94名	100%

- ・教育・研修について「とても満足」が27名（28.7%）、「満足」が55名（58.5%）と、9割近くが満足しているとの回答だった。
- ・「どちらともいえない」10名中3名が『農学部_農学科』、該当学科5名中の6割がこの回答だった。また、『国際食料情報学部_バイオビジネス学科』においても該当学科4名中2名がこの回答だった。
- ・「不満」は2名（2.1%）。該当学科は『地域環境科学部_地域創成科学科』、『大学院_生命科学研究科_分子生命化学専攻』（各1名）だった。

Q2. 大学生生活を振り返って、学生生活は満足したものでしたか。

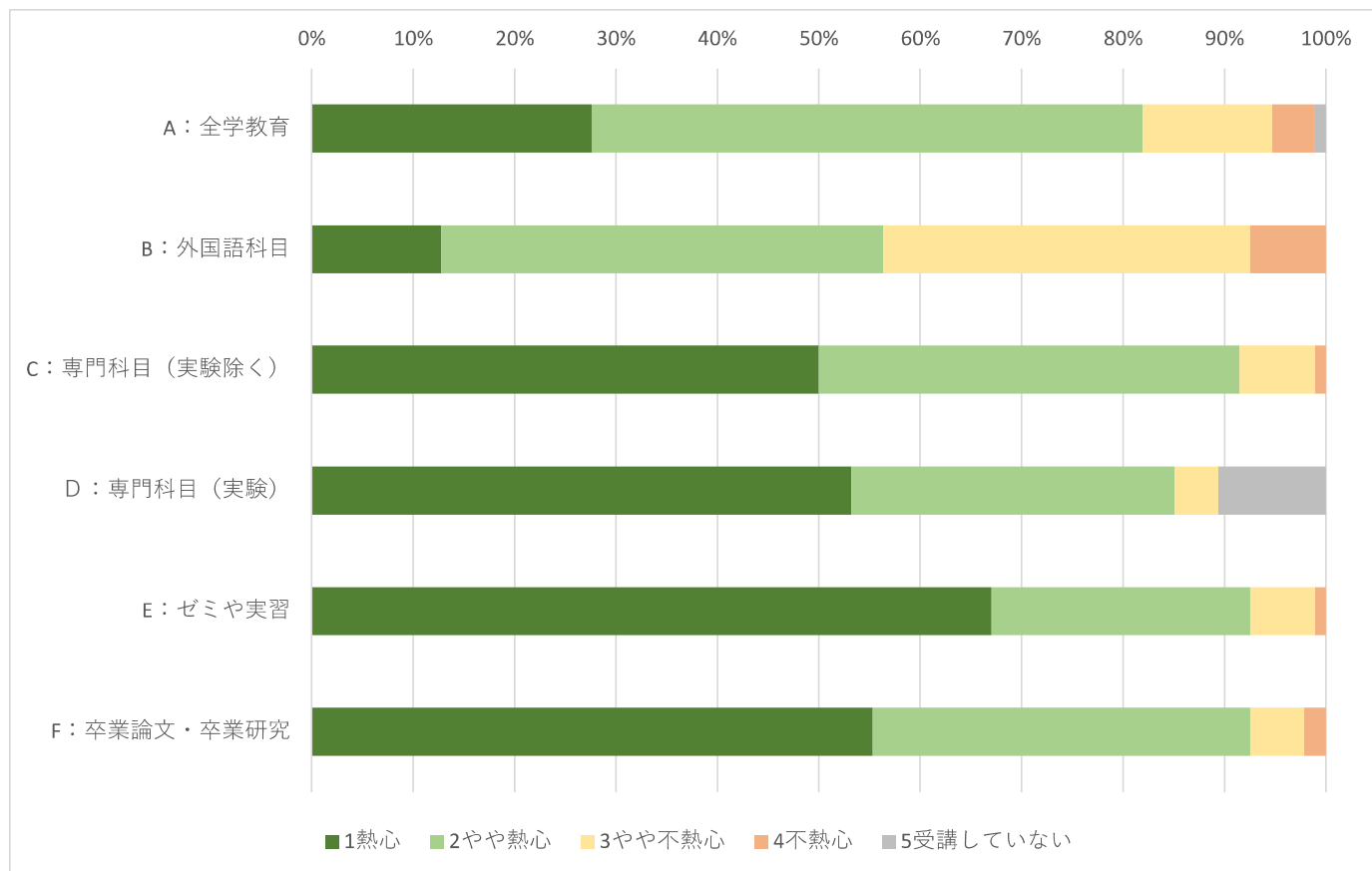


項目	合計	比率
とても満足	41名	43.6%
満足	44名	46.8%
どちらともいえない	7名	7.4%
不満	2名	2.1%
とても不満	0名	0.0%
合計	94名	100%

- ・大学生生活の満足度は「とても満足」が41名（43.6%）、「満足」が44名（46.8%）と9割が満足しており、教育・学習への満足度と比較しても、「とても満足」と回答した方が14名多い結果となった。
- ・逆に「不満」と回答したのは2名。学科・専攻は『地域環境科学部_地域創成科学科』『大学院_生命科学研究科_分子生命化学専攻』。

Q3. 大学の授業科目について、どの程度熱心に取り組みましたか。

AからFまでの項目ごとにお答えください。

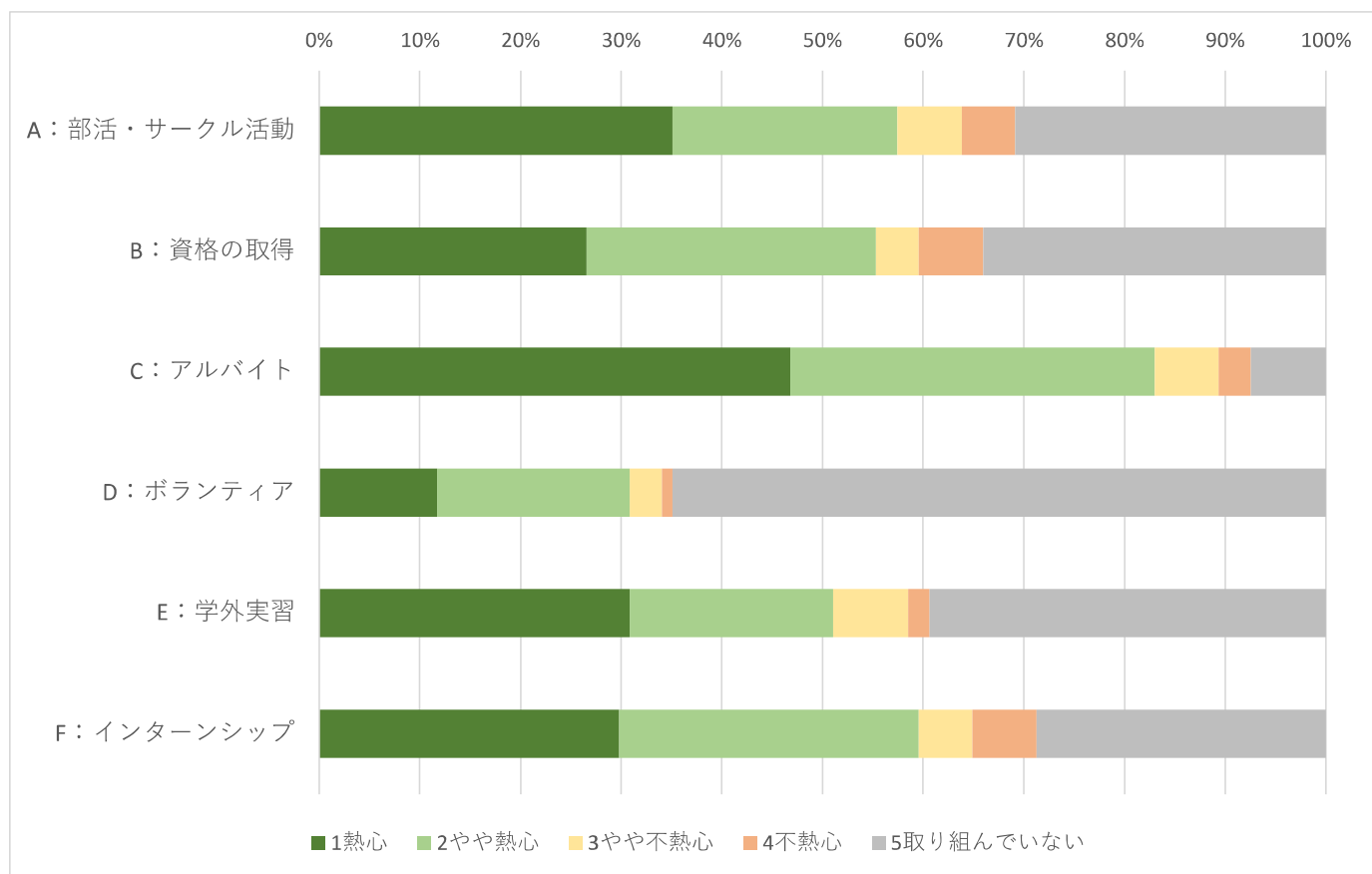


項目	1熱心	2やや熱心	3やや不熱心	4不熱心	5受講していない	合計	1 + 2 合計	1 + 2 / 1 ~ 4 計
A : 全学教育	26名	51名	12名	4名	1名	93名	77名	82.8%
B : 外国語科目	12名	41名	34名	7名		94名	53名	56.4%
C : 専門科目 (実験除く)	47名	39名	7名	1名		94名	86名	91.5%
D : 専門科目 (実験)	50名	30名	4名		10名	84名	80名	95.2%
E : ゼミや実習	63名	24名	6名	1名		94名	87名	92.6%
F : 卒業論文・卒業研究	52名	35名	5名	2名		94名	87名	92.6%

- ・『A : 全学教育』については、「熱心」が3割弱、「やや熱心」も併せると8割以上が肯定的な回答。
- ・『C : 専門科目 (実験除く)』『E : ゼミや実習』『F : 卒業論文・卒業研究』についてはいずれも「熱心」が5割～6割、「やや熱心」も併せると9割以上が肯定的回答となった。
- ・『D: 専門科目 (実験)』は受講していない10名を除くとC・E・Fと同様の結果となった。
- ・一方、『B : 外国語科目』については、「熱心」が1割強、「やや熱心」を併せても肯定的回答は5割超にとどまった。
- ・外国語を除くと、より専門性が高く、より能動的な学習に対して熱心に取り組む傾向がみられる。

Q4. 課外活動について、どの程度熱心に取り組みましたか。

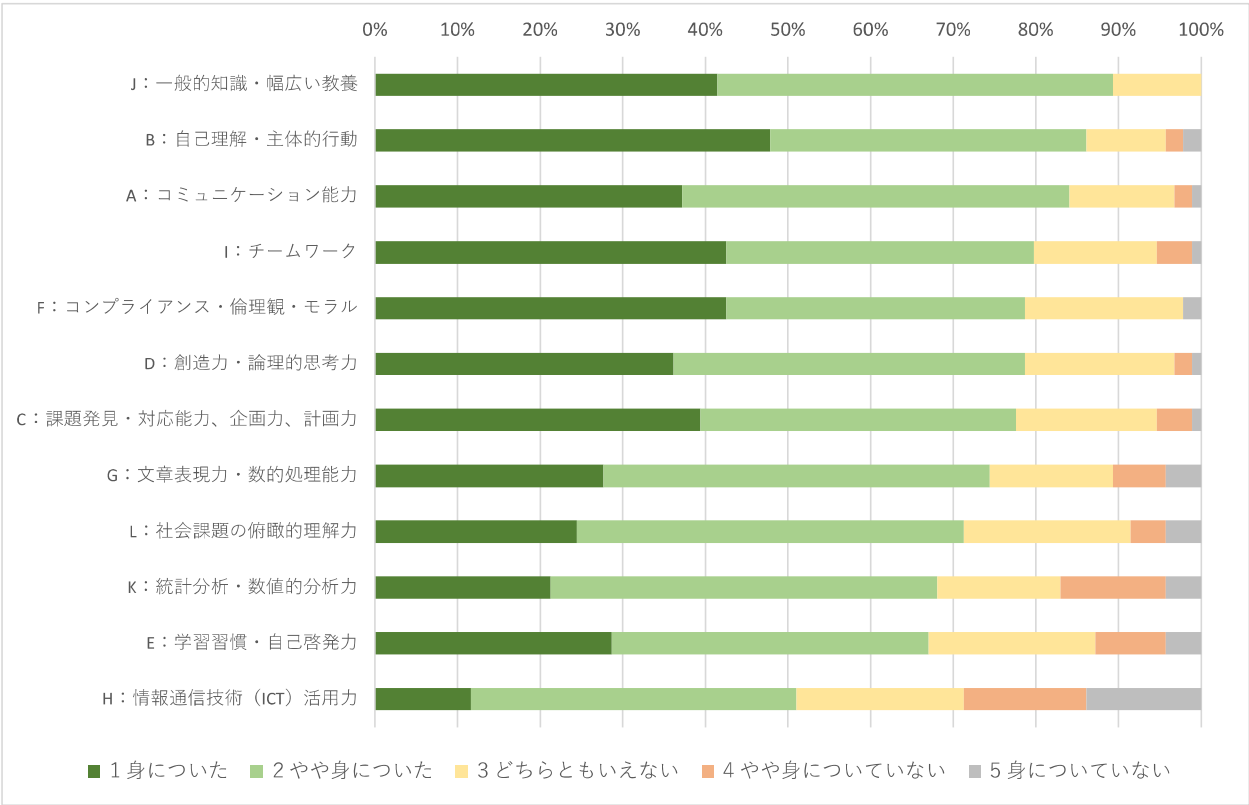
AからFまでの項目ごとにお答えください。



項目	1熱心	2やや熱心	3やや不熱心	4不熱心	5取り組んでいない	合計	1 + 2 合計	1 + 2 比率
A: 部活・サークル活動	33名	21名	6名	5名	29名	94名	54名	57.4%
B: 資格の取得	25名	27名	4名	6名	32名	94名	52名	55.3%
C: アルバイト	44名	34名	6名	3名	7名	94名	78名	83.0%
D: ボランティア	11名	18名	3名	1名	61名	94名	29名	30.9%
E: 学外実習	29名	19名	7名	2名	37名	94名	48名	51.1%
F: インターンシップ	28名	28名	5名	6名	27名	94名	56名	59.6%

- ・課外活動について、一番熱心に取り組んでいたのが『C:アルバイト』の約8割、次いで『F:インターンシップ』、『A:部活・サークル活動』、『B:資格の取得』だった。
- ・『F:インターンシップ』、『A:部活・サークル活動』、『B:資格の取得』はいずれも、5～6割が熱心・やや熱心に取り組んでいる一方、3割は実施なし。
- ・『D:ボランティア』については熱心・やや熱心な活動が3割にとどまり、6割以上が実施していなかった。

Q5. 在学中に以下の力はどの程度身に付きましたか。
AからLまでの項目ごとにお答えください。



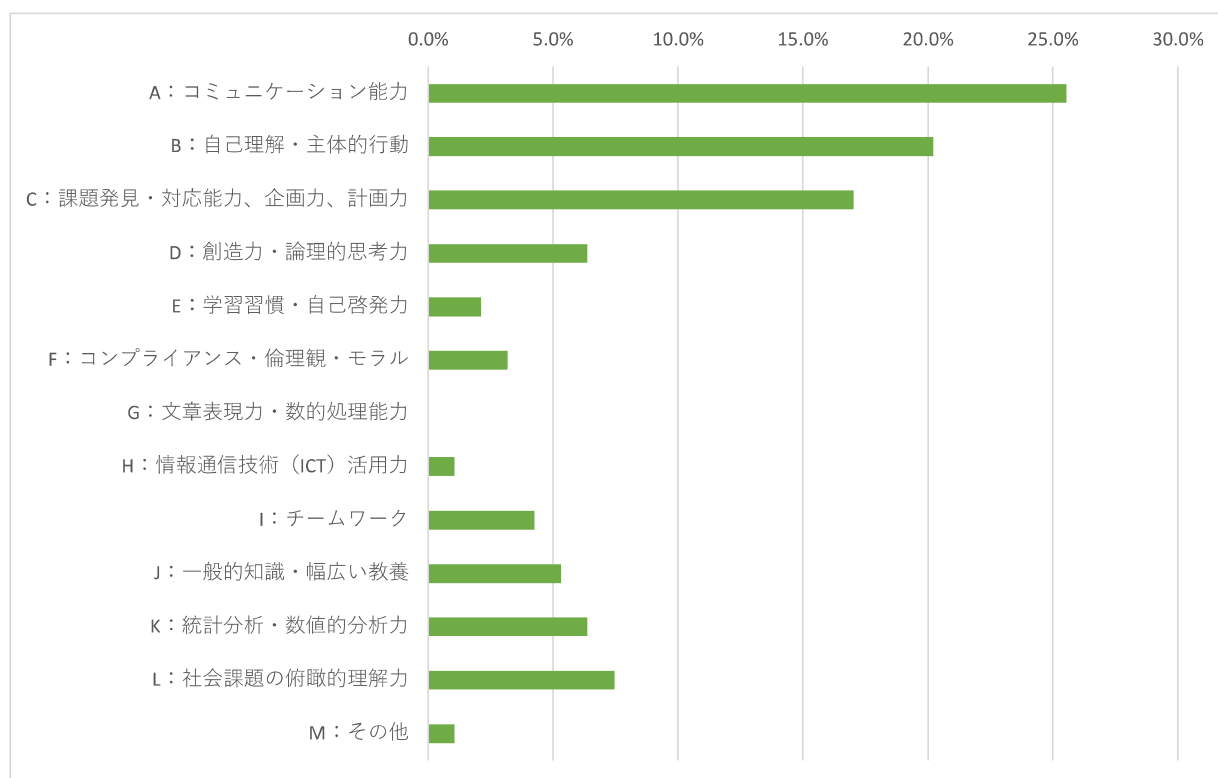
項目	1 身についた	2 やや身についた	3 どちらともいえない	4 やや身についていない	5 身についていない	合計	1+2合計	1+2比率
J：一般的知識・幅広い教養	39名	45名	10名			94名	84名	89.4%
B：自己理解・主体的行動	45名	36名	9名	2名	2名	94名	81名	86.2%
A：コミュニケーション能力	35名	44名	12名	2名	1名	94名	79名	84.0%
I：チームワーク	40名	35名	14名	4名	1名	94名	75名	79.8%
F：コンプライアンス・倫理観・モラル	40名	34名	18名		2名	94名	74名	78.7%
D：創造力・論理的思考力	34名	40名	17名	2名	1名	94名	74名	78.7%
C：課題発見・対応能力、企画力、計画力	37名	36名	16名	4名	1名	94名	73名	77.7%
G：文章表現力・数的処理能力	26名	44名	14名	6名	4名	94名	70名	74.5%
L：社会課題の俯瞰的理解力	23名	44名	19名	4名	4名	94名	67名	71.3%
K：統計分析・数値的分析力	20名	44名	14名	12名	4名	94名	64名	68.1%
E：学習習慣・自己啓発力	27名	36名	19名	8名	4名	94名	63名	67.0%
H：情報通信技術（ICT）活用力	11名	37名	19名	14名	13名	94名	48名	51.1%

- ・表・グラフとも「身についた」+「やや身についた」合計が多い順へ並べ替えたところ、「身についた」「やや身についた」が一番多かった項目は『J：一般的知識・幅広い教養』。
- 次いで『B：自己理解・主体的行動』、『A:コミュニケーション能力』、『I:チームワーク』となった。
- ・『J：一般的知識・幅広い教養』では、「身についていない」などの否定的な意見も見られなかった。
- ・「やや身についていない」「身についていない」回答が比較的多かったのは『H：情報通信技術（ICT）活用力』『E：学習習慣・自己啓発力』『K：統計分析・数値的分析力』であった。

Q5. その他、A～L以外で身に付いたことがあれば、お知らせください。

項目	5名
飲み会での立ち回り、 イベントやライブの企画運営能力運営	1名
経営能力	1名
専門的知識、技術	1名
卒論を通じて統計学を学ぶことができた。 母数や変数の属性を気にするようになった。	1名
自身の学んだ分野からの広がりや、仕事をするうえで 自分自身が関わっていく方法を探しだす力。 多分野連携。	1名

Q6. 本学で学ぶ学生が特に身につけた方が良いと思う力はなんですか。ひとつお選びください。



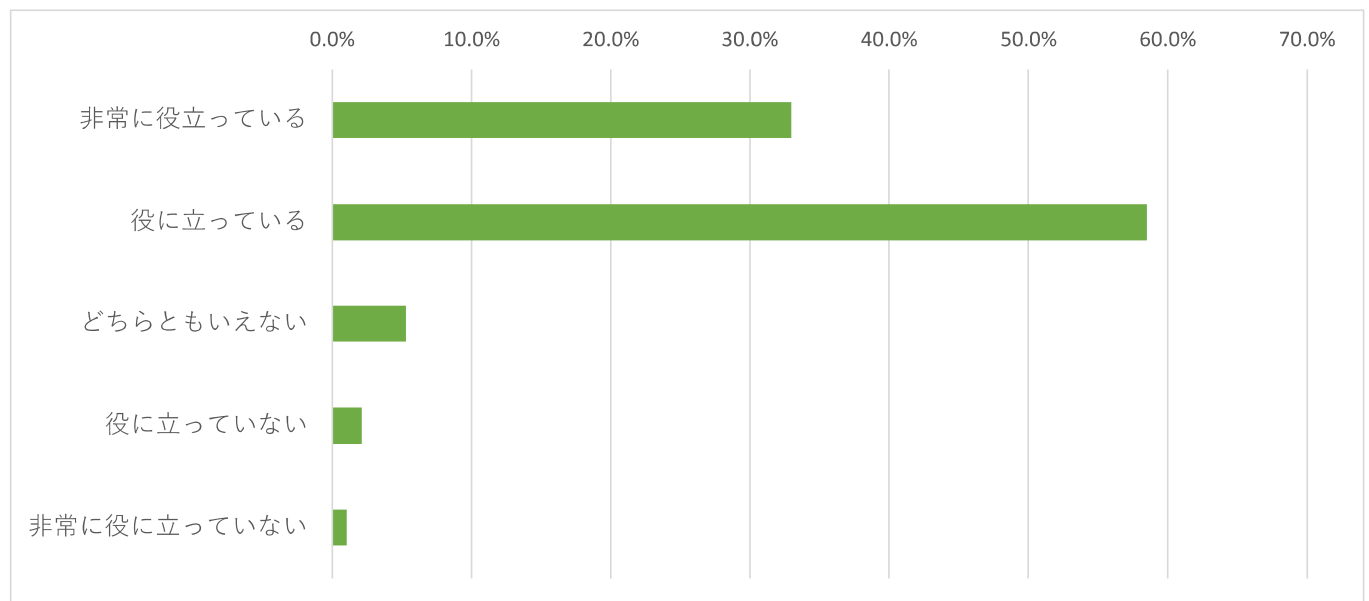
項目	人数	比率
A：コミュニケーション能力	24名	25.5%
B：自己理解・主体的行動	19名	20.2%
C：課題発見・対応能力、企画力、計画力	16名	17.0%
D：創造力・論理的思考力	6名	6.4%
E：学習習慣・自己啓発力	2名	2.1%
F：コンプライアンス・倫理観・モラル	3名	3.2%
G：文章表現力・数的処理能力	0名	0.0%
H：情報通信技術（ICT）活用力	1名	1.1%
I：チームワーク	4名	4.3%
J：一般的知識・幅広い教養	5名	5.3%
K：統計分析・数値的分析力	6名	6.4%
L：社会課題の俯瞰的理解力	7名	7.4%
M：その他	1名	1.1%
合計	94名	100.0%

- ・身につけた方が良い力として、最も多かったのが『A:コミュニケーション能力』で、全体の4分の1の方が選択した。
- ・次いで『B：自己理解・主体的行動』、『C：課題発見・対応能力、企画力、計画力』という結果となった。
- ・逆に選択されなかったのが『G：文章表現力・数的処理能力』（0名）、『H：情報通信技術（ICT）活用力』（1名）『E：学習習慣・自己啓発力』（2名）

Q6. Mその他を選択した方はどのような能力が必要か、具体的にお知らせください

項目（その他選択の方の意見）		1人
生命、大地や農業に対する感謝と喜び、楽しさを見つける力		1人
項目（その他選択以外の方のご意見）	選択項目	7人
一般的知識、課題発見・対応能力	A：コミュニケーション能力	1人
仕事で肝になると感じたから	A：コミュニケーション能力	1人
社会人に出たらコミュニケーション能力の無い人間は使い物にならないから。	A：コミュニケーション能力	1人
家計管理能力	B：自己理解・主体的行動	1人
農大の英語教育はお粗末なので英語力は自分で身につける必要があると思います。 日本を代表するグローバル企業で働いておりますが 英語での会議/資料はあたり前に行われ、 従業員にも英語力が求められる機会が極めて多いことを実感したため。	E：学習習慣・自己啓発力	1人
どの業界に就職しても、必要となるスキルであるから。	K：統計分析・数値的分析力	1人
農業に関する専門知識	K：統計分析・数値的分析力	1人

Q7. 卒業後から今日までを振り返り、本学の教育をどのように評価しますか。



項目	人数	比率
非常に役立っている	31名	33.0%
役に立っている	55名	58.5%
どちらともいえない	5名	5.3%
役に立っていない	2名	2.1%
非常に役に立っていない	1名	1.1%
合計	94名	100.0%

- ・卒業後の教育への評価としては「非常に役立っている」が31名（33.0%）、「役に立っている」が55名（58.5%）と、9割以上の方が高く評価している。
- ・一方、「役に立ってない」「非常に役に立っていない」というご意見も3名より頂いた。
3名中2名は、教育・研究および大学生活に「不満」とのご意見を頂いた方と同一だった。

卒業生のキャリア状況調査に対する アンケート結果について

【就職先企業対象】

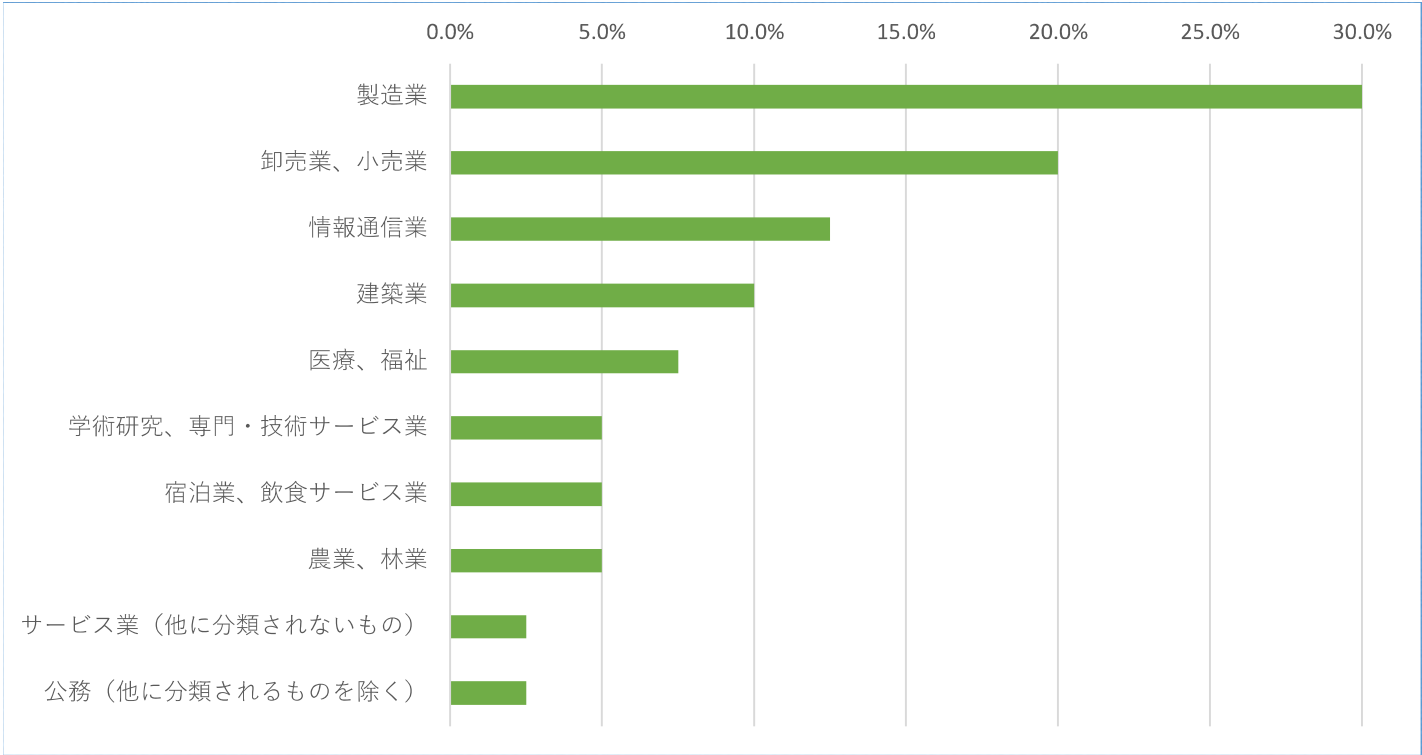
本アンケートは、東京農業大学の卒業生及び卒業生の就職先企業における働く上で必要とされている能力や経験、本学に対するお考え等をお伺いし、その結果を本学の教育改革に適切に反映して、教育の質向上を図ることを目的としたものです。

■ 調査概要

調査対象	令和5年度卒業生の就業先企業のうち、メールアドレスが判明した企業様
調査期間	2025年5月15日～6月14日（30日間）
調査方法	①作成したメーリングリストに基づき、アンケート協力依頼メールを配信 ②依頼メール記載のURLへアクセス頂き、回答 ※Microsoft Formsを利用 ※無記名方式にて実施
調査依頼数	137社（前回※1：158社）
回答数	37社（前回：35社）
回答率	27.01%（前回：22.15%）
質問項目数	18問（前回：18問）
平均回答時間	10分13秒（前回：12分31秒）

※ 1：2024年5月15日～2024年6月14日実施の前回調査を指す

FACE 1. 貴社・貴団体の業種をお知らせください。

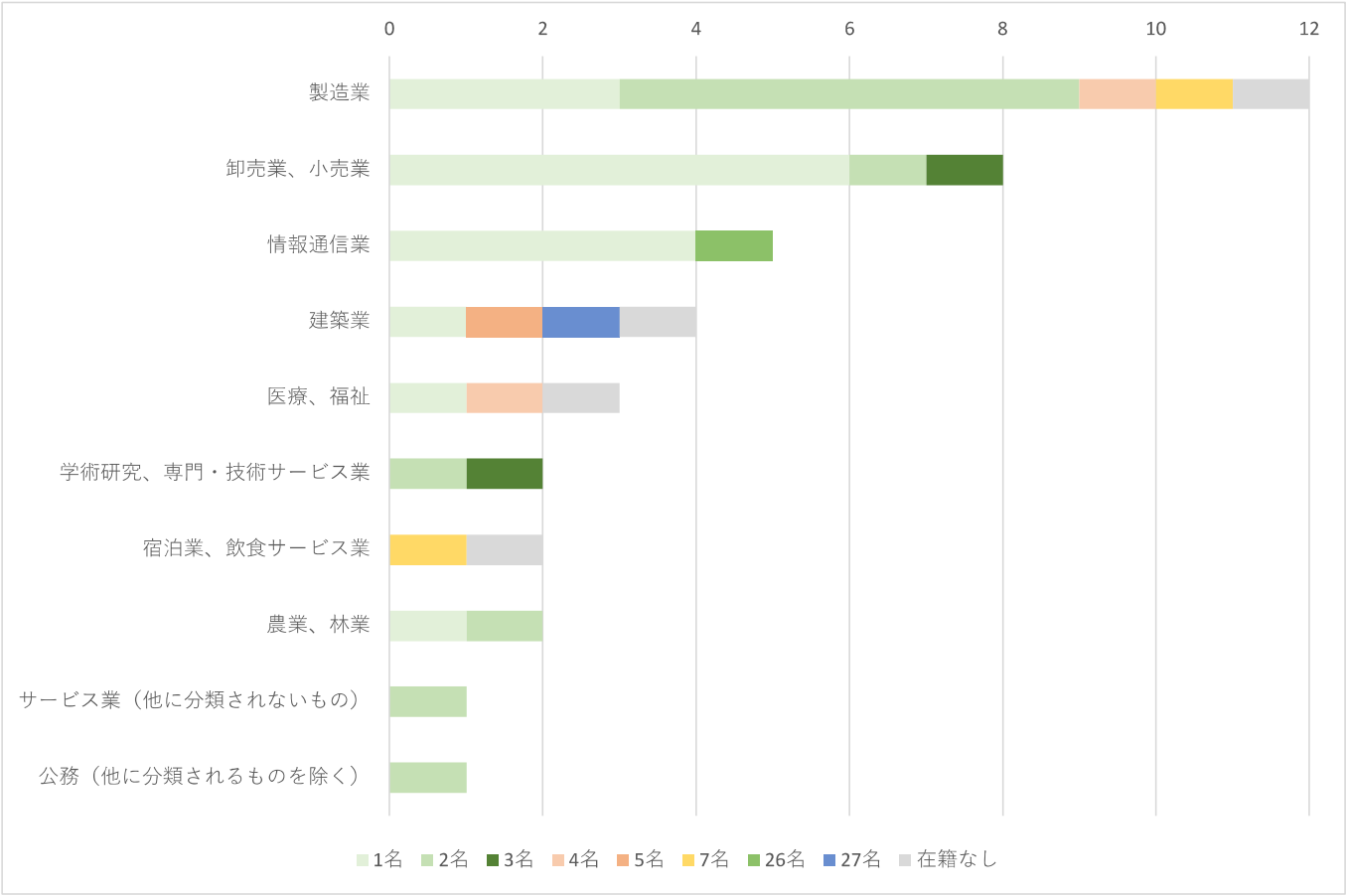


項目	合計	比率
製造業	12社	30.0%
卸売業、小売業	8社	20.0%
情報通信業	5社	12.5%
建築業	4社	10.0%
医療、福祉	3社	7.5%
学術研究、専門・技術サービス業	2社	5.0%
宿泊業、飲食サービス業	2社	5.0%
農業、林業	2社	5.0%
サービス業（他に分類されないもの）	1社	2.5%
公務（他に分類されるものを除く）	1社	2.5%
合計	40社	100%

【FACE情報①】

- ・全体では10業種の企業様よりご協力頂いた。
- ・最も多かった業種は『製造業』の12社（30.0%）、次いで『卸売業、小売業』の8社（20.0%）『情報通信業』5社（12.0%）『建築業』4社（10.0%）。上位2業種で全体の半数を占めた。

F2. 令和6年度入社の本学卒業生の在籍人数をお教えてください。

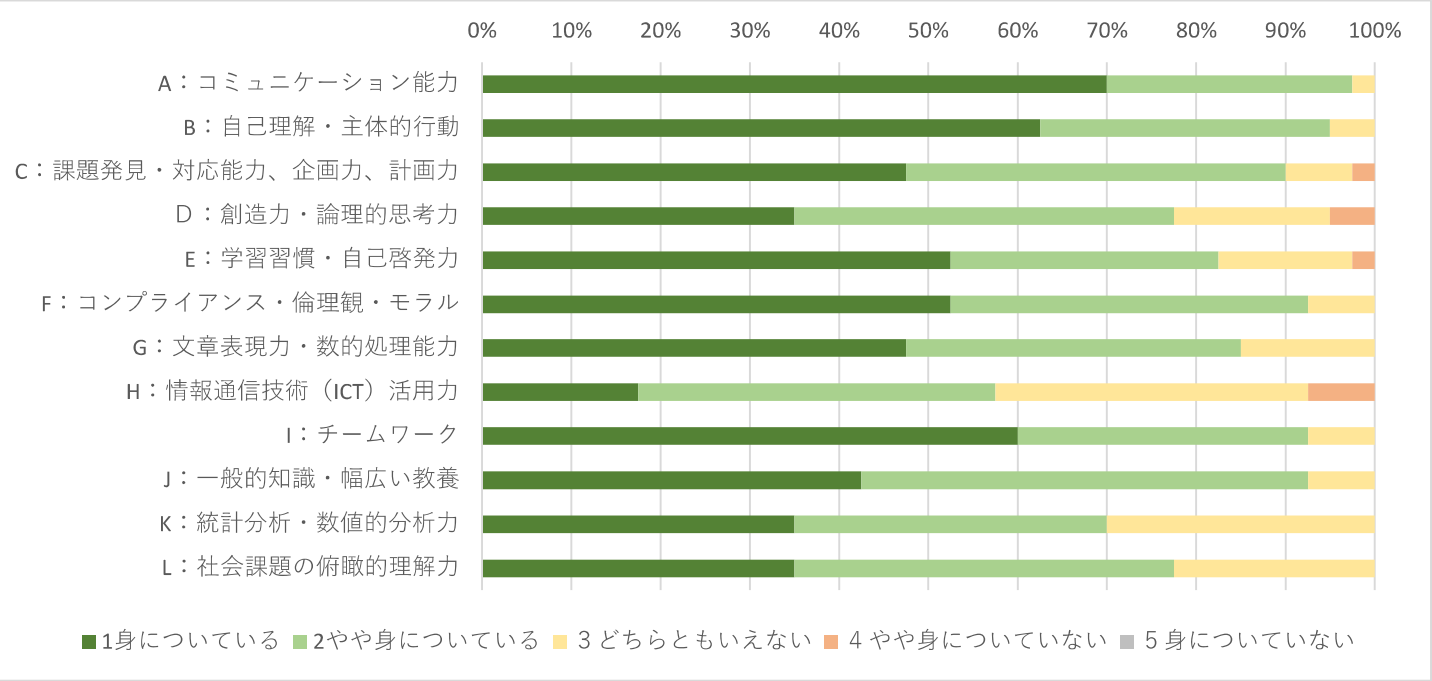


項目	1名	2名	3名	4名	5名	7名	26名	27名	在籍なし	人数
製造業	3社	6社		1社		1社			1社	12社
卸売業、小売業	6社	1社	1社							8社
情報通信業	4社						1社			5社
建築業	1社				1社			1社	1社	4社
医療、福祉	1社			1社					1社	3社
学術研究、専門・技術サービス業		1社	1社							2社
宿泊業、飲食サービス業						1社			1社	2社
農業、林業	1社	1社								2社
サービス業（他に分類されないもの）		1社								1社
公務（他に分類されるものを除く）		1社								1社
合計	16社	11社	2社	2社	1社	2社	1社	1社	4社	40社
比率	40.0%	27.5%	5.0%	5.0%	2.5%	5.0%	2.5%	2.5%	10.0%	100.0%

【FACE情報②】

- ・卒業生の在籍数で最も多かったのは「1名」16社（40.0%）
- ・次いで2名、3名と続くが、『建築業』にて「27名」、『情報通信業』にて「26名」という回答が各1社あり。
- ・また、「0名（在席なし）」と回答頂いた企業様も4社あった。

Q1. 次の質問に掲げる能力・資質は、中央教育審議会答申や経済産業省が提唱する「社会人基礎力」等に基づき、社会人として必要と思われる能力・資質を類型化したものです。東京農業大学の卒業生・修了生が次の表の能力・資質を身に付けているかについて、AからLの項目ごとに該当する回答をご選択ください。



項目	1身についている	2やや身についている	3どちらともいえない	4やや身についていない	5身についていない	合計	1 + 2 比率
A：コミュニケーション能力	28社	11社	1社			40社	97.5%
B：自己理解・主体的行動	25社	13社	2社			40社	95.0%
C：課題発見・対応能力、企画力、計画力	19社	17社	3社	1社		40社	90.0%
D：創造力・論理的思考力	14社	17社	7社	2社		40社	77.5%
E：学習習慣・自己啓発力	21社	12社	6社	1社		40社	82.5%
F：コンプライアンス・倫理観・モラル	21社	16社	3社			40社	92.5%
G：文章表現力・数的処理能力	19社	15社	6社			40社	85.0%
H：情報通信技術（ICT）活用力	7社	16社	14社	3社		40社	57.5%
I：チームワーク	24社	13社	3社			40社	92.5%
J：一般的知識・幅広い教養	17社	20社	3社			40社	92.5%
K：統計分析・数値的分析力	14社	14社	12社			40社	70.0%
L：社会課題の俯瞰的理解力	14社	17社	9社			40社	77.5%

・『A：コミュニケーション能力』については、40社中39社が身についている寄りの回答。
（「どちらともいえない」と回答頂いた1社は令和6年卒生が入社1年以内に退職済みであった企業様）

・そのほか、計8項目が8割以上が身についている寄りの回答を頂いた。

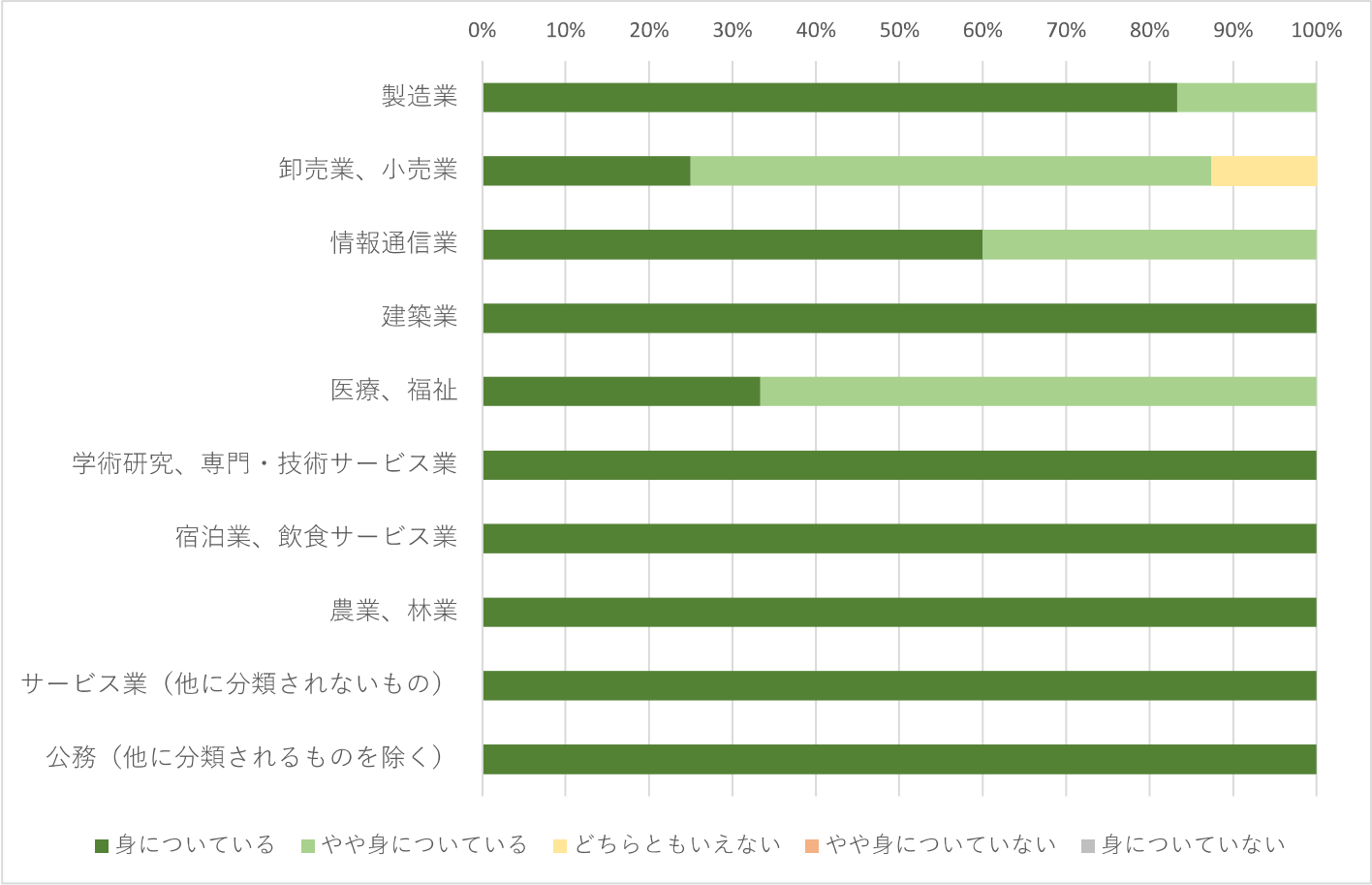
・一方、「やや身についていない」という評価のあった項目は『C：課題発見・対応能力、企画力、計画力』『D：創造力・論理的思考力』『E：学習習慣・自己啓発力』『H：情報通信技術（ICT）活用力』
特に『H：情報通信技術（ICT）活用力』は身についている割合も6割以下に留まった。

・業種別では以下の項目が評価が低い傾向がみられた。
「卸売業、小売業」・・・『C：課題発見・対応能力、企画力、計画力』『G：文章表現力・数的処理能力』
「医療・福祉」・・・『D：創造力・論理的思考力』『E：学習習慣・自己啓発力』

Q1. A～L以外で身に付けていたことがあれば、お知らせください。

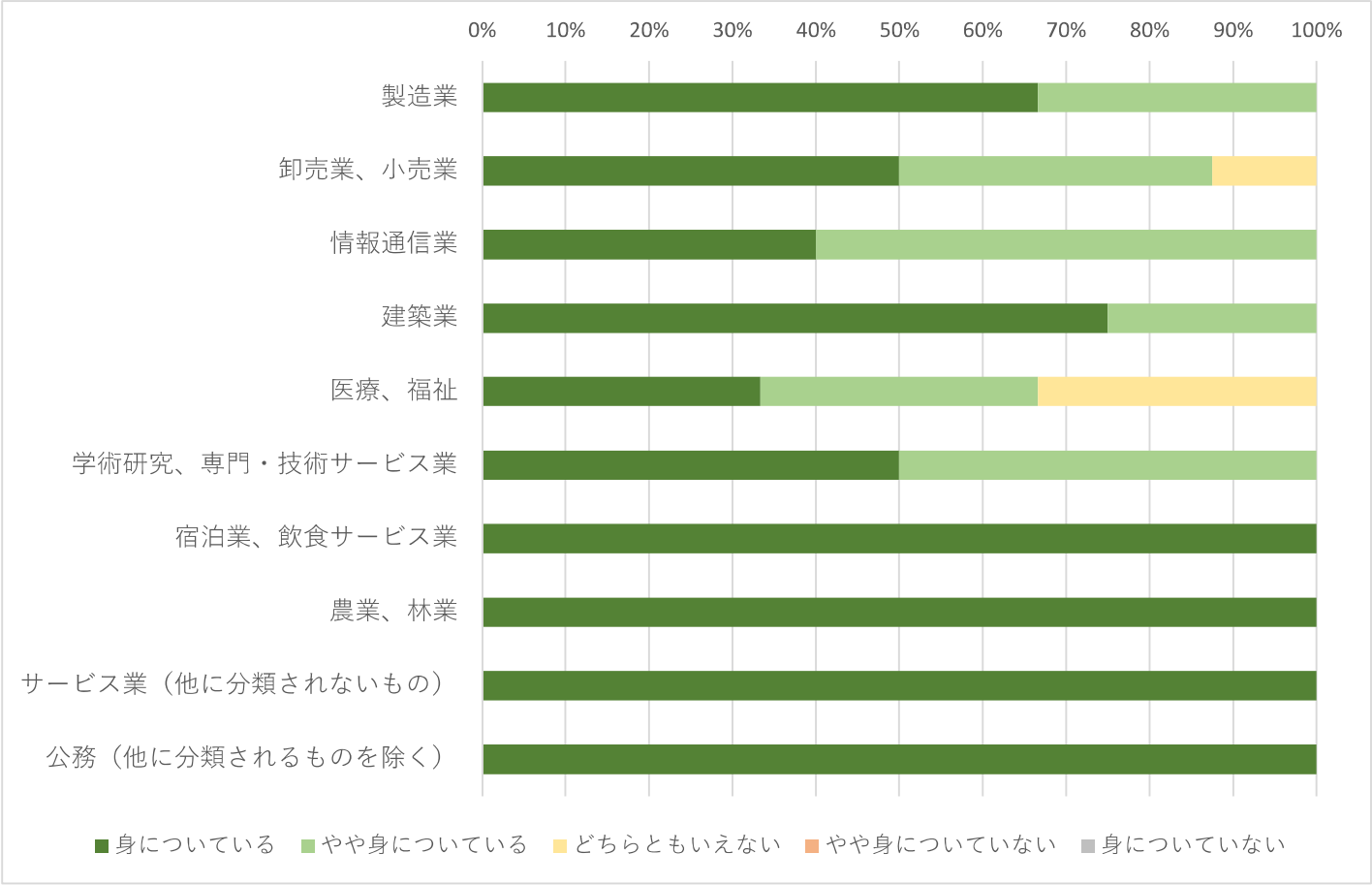
項目	業種	3社
食品に関わる興味を持っている	情報通信業	1社
想像力（相手の立場に立った行動ができる方が多いと感じます）	製造業	1社
上記の問含め、現在35名程在籍がおりますので、 問に対しては入力させて頂きましたが、 人数多い為全員に当てはまるという事はなく あくまでも個人的資質によるところが大きい事をご理解ください。	製造業	1社

Q1. A : コミュニケーション能力（業種別傾向）



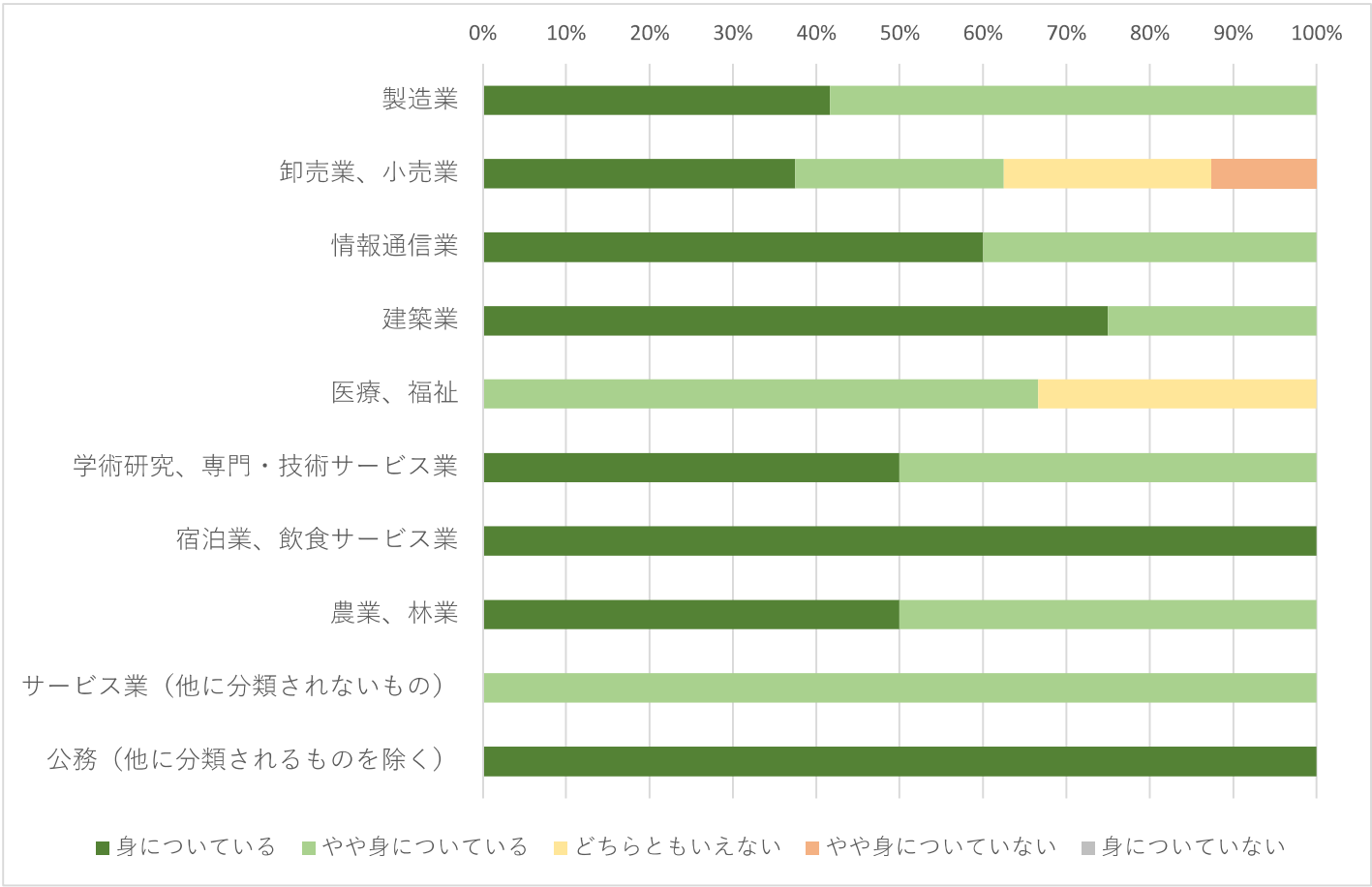
項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
製造業	10社	2社				12社
卸売業、小売業	2社	5社	1社			8社
情報通信業	3社	2社				5社
建築業	4社					4社
医療、福祉	1社	2社				3社
学術研究、専門・技術サービス業	2社					2社
宿泊業、飲食サービス業	2社					2社
農業、林業	2社					2社
サービス業（他に分類されないもの）	1社					1社
公務（他に分類されるものを除く）	1社					1社
合計	28社	11社	1社	0社	0社	40社
比率	70.0%	27.5%	2.5%	0.0%	0.0%	100.0%

Q1. B：自己理解・主体的行動（業種別傾向）



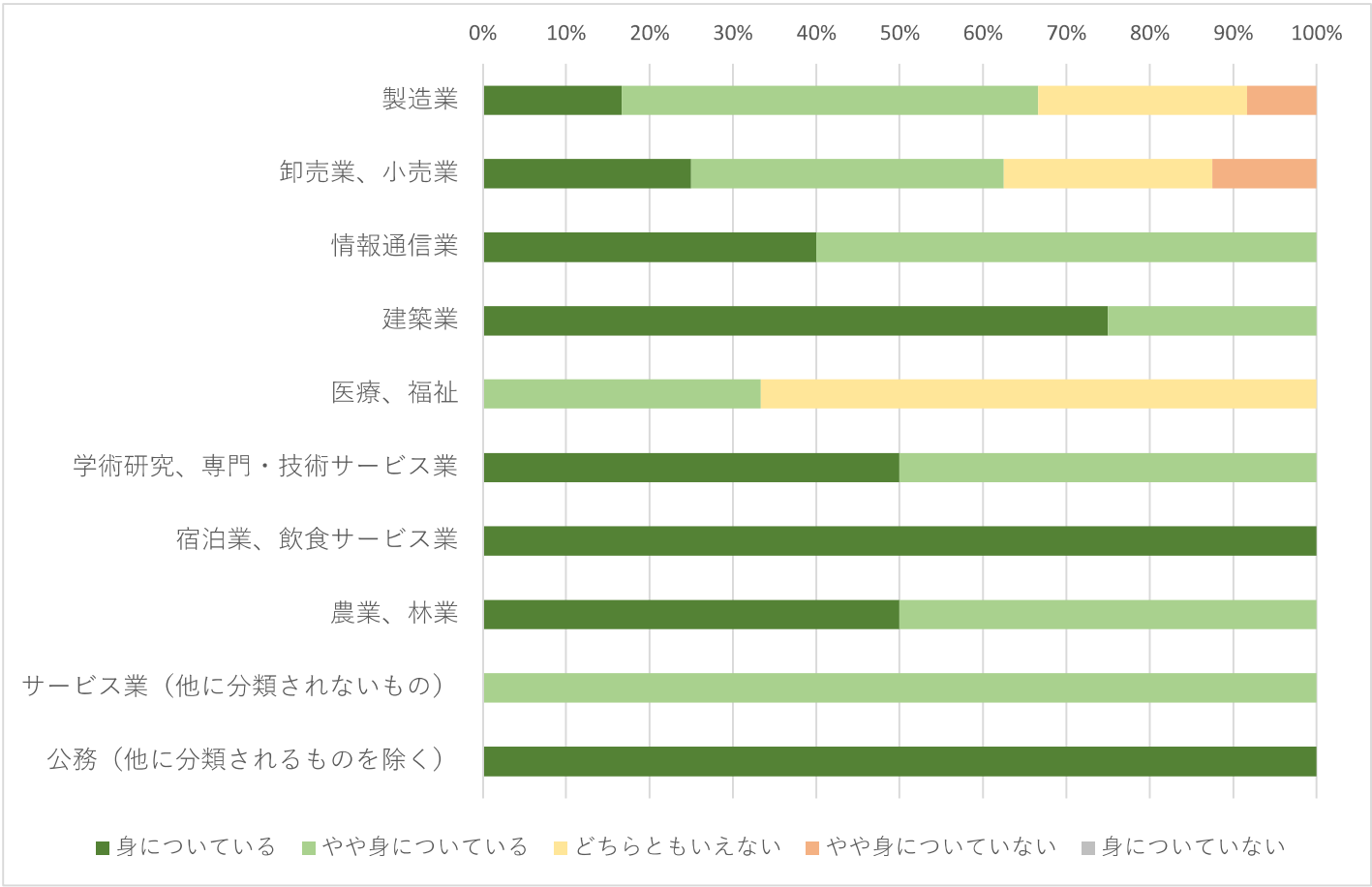
項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
製造業	8社	4社				12社
卸売業、小売業	4社	3社	1社			8社
情報通信業	2社	3社				5社
建築業	3社	1社				4社
医療、福祉	1社	1社	1社			3社
学術研究、専門・技術サービス業	1社	1社				2社
宿泊業、飲食サービス業	2社					2社
農業、林業	2社					2社
サービス業（他に分類されないもの）	1社					1社
公務（他に分類されるものを除く）	1社					1社
合計	25社	13社	2社	0社	0社	40社
比率	62.5%	32.5%	5.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q1. C：課題発見・対応能力、企画力、計画力（業種別傾向）



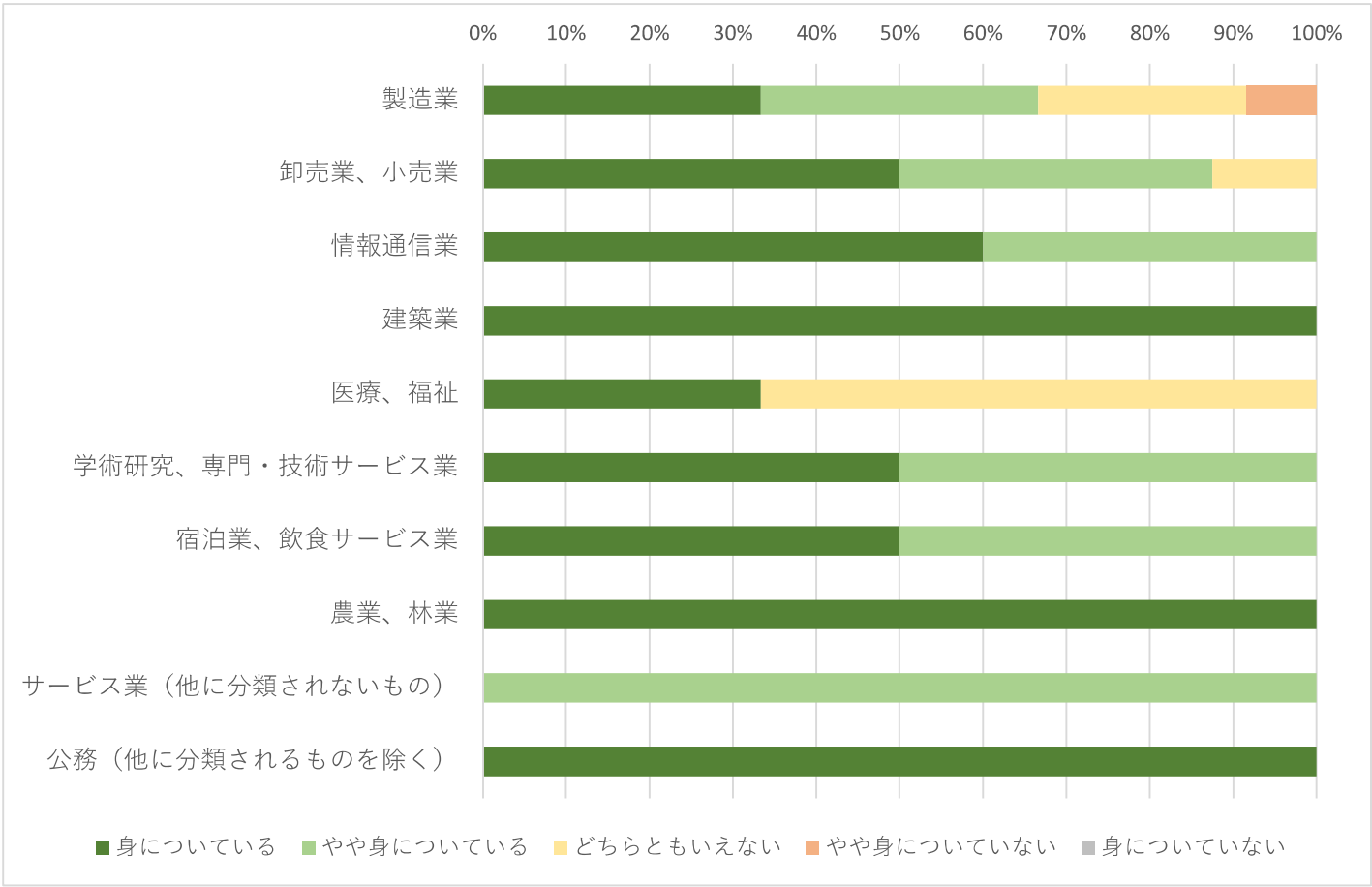
項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
製造業	5社	7社				12社
卸売業、小売業	3社	2社	2社	1社		8社
情報通信業	3社	2社				5社
建築業	3社	1社				4社
医療、福祉		2社	1社			3社
学術研究、専門・技術サービス業	1社	1社				2社
宿泊業、飲食サービス業	2社					2社
農業、林業	1社	1社				2社
サービス業（他に分類されないもの）		1社				1社
公務（他に分類されるものを除く）	1社					1社
合計	19社	17社	3社	1社	0社	40社
比率	47.5%	42.5%	7.5%	2.5%	0.0%	100.0%

Q1. D：創造力・論理的思考力（業種別傾向）



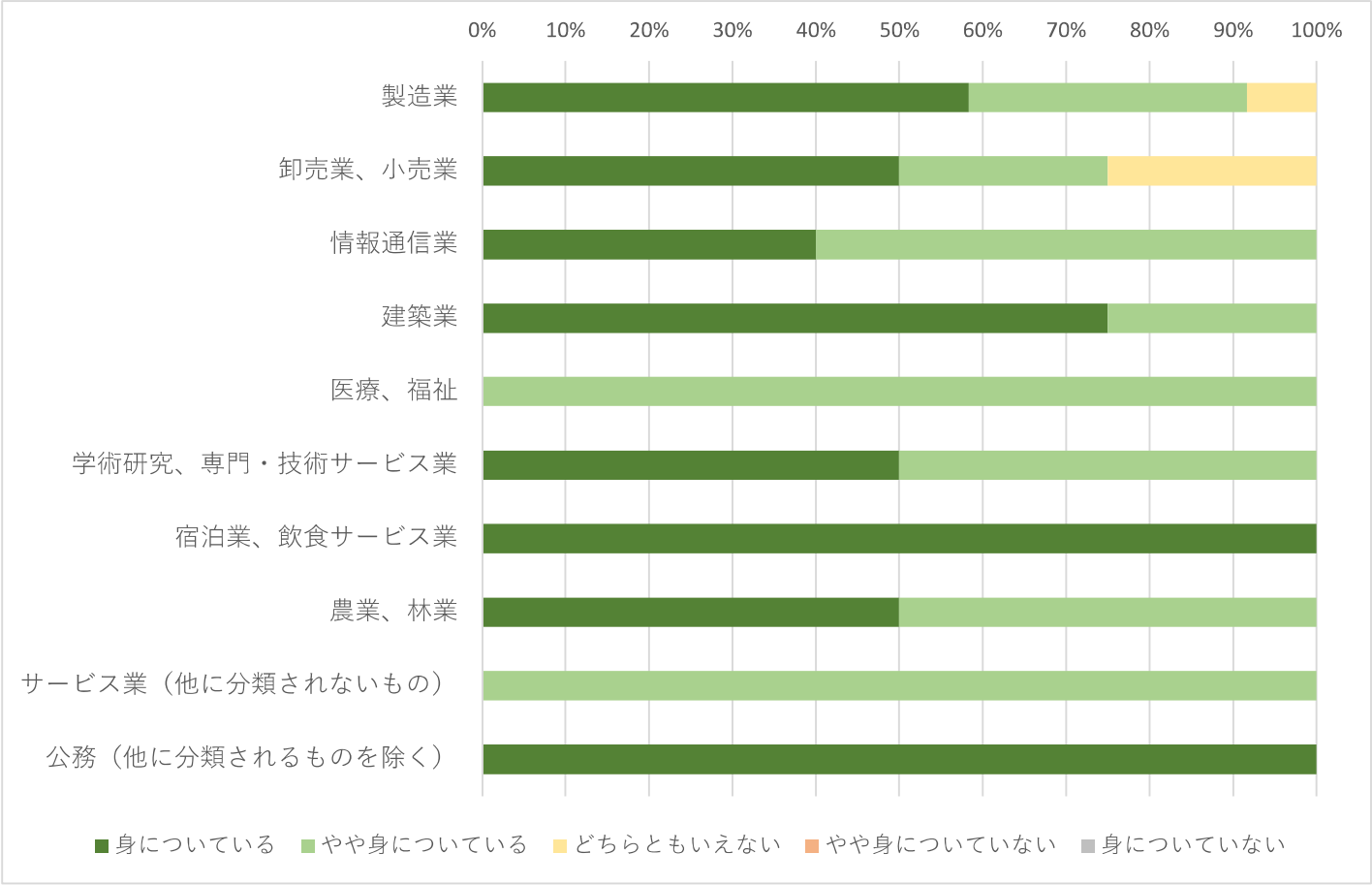
項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
製造業	2社	6社	3社	1社		12社
卸売業、小売業	2社	3社	2社	1社		8社
情報通信業	2社	3社				5社
建築業	3社	1社				4社
医療、福祉		1社	2社			3社
学術研究、専門・技術サービス業	1社	1社				2社
宿泊業、飲食サービス業	2社					2社
農業、林業	1社	1社				2社
サービス業（他に分類されないもの）		1社				1社
公務（他に分類されるものを除く）	1社					1社
合計	14社	17社	7社	2社	0社	40社
比率	35.0%	42.5%	17.5%	5.0%	0.0%	100.0%

Q1. E：学習習慣・自己啓発力（業種別傾向）



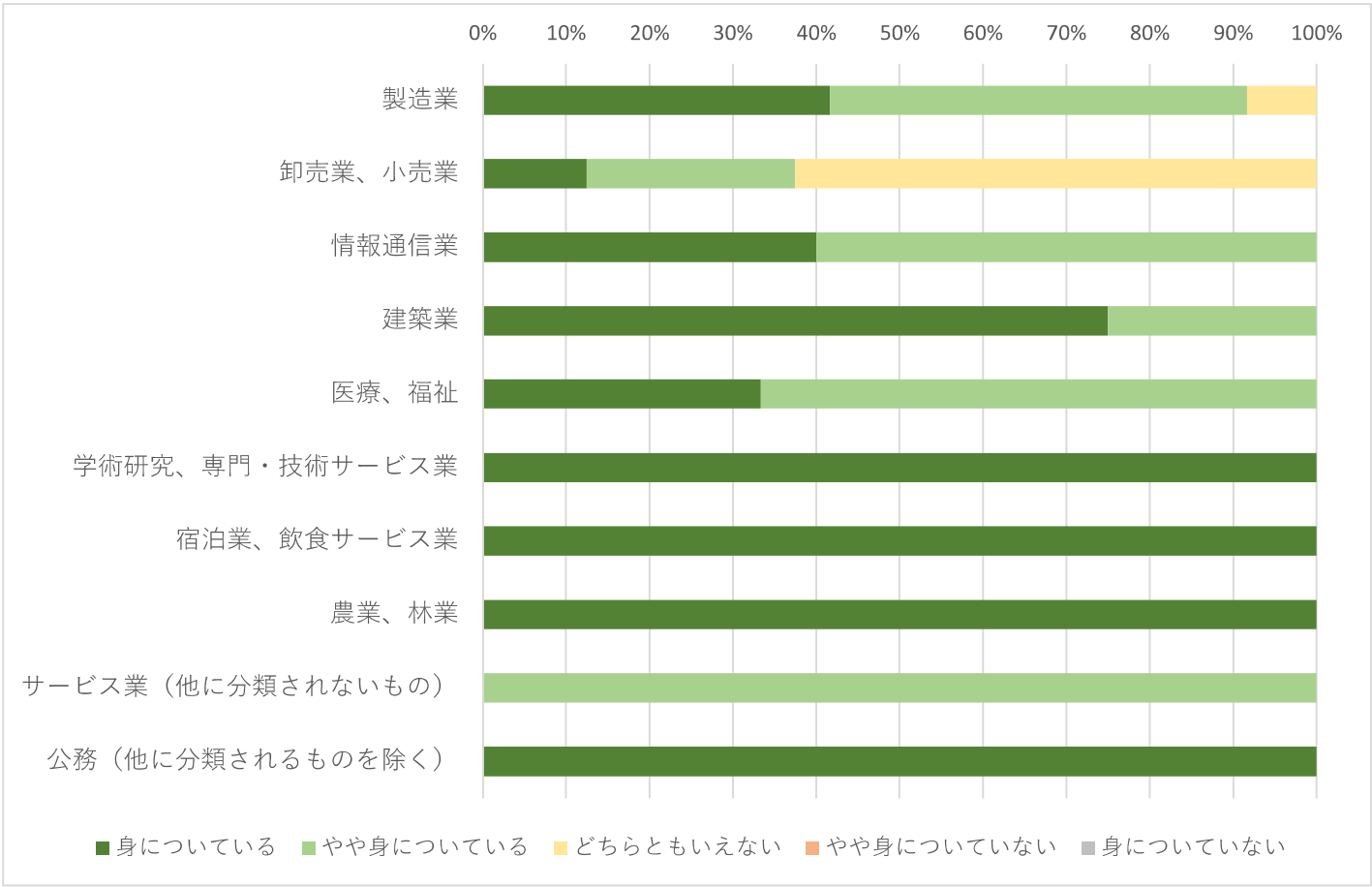
項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
製造業	4社	4社	3社	1社		12社
卸売業、小売業	4社	3社	1社			8社
情報通信業	3社	2社				5社
建築業	4社					4社
医療、福祉	1社		2社			3社
学術研究、専門・技術サービス業	1社	1社				2社
宿泊業、飲食サービス業	1社	1社				2社
農業、林業	2社					2社
サービス業（他に分類されないもの）		1社				1社
公務（他に分類されるものを除く）	1社					1社
合計	21社	12社	6社	1社	0社	40社
比率	52.5%	30.0%	15.0%	2.5%	0.0%	100.0%

Q1. F : コンプライアンス・倫理観・モラル（業種別傾向）



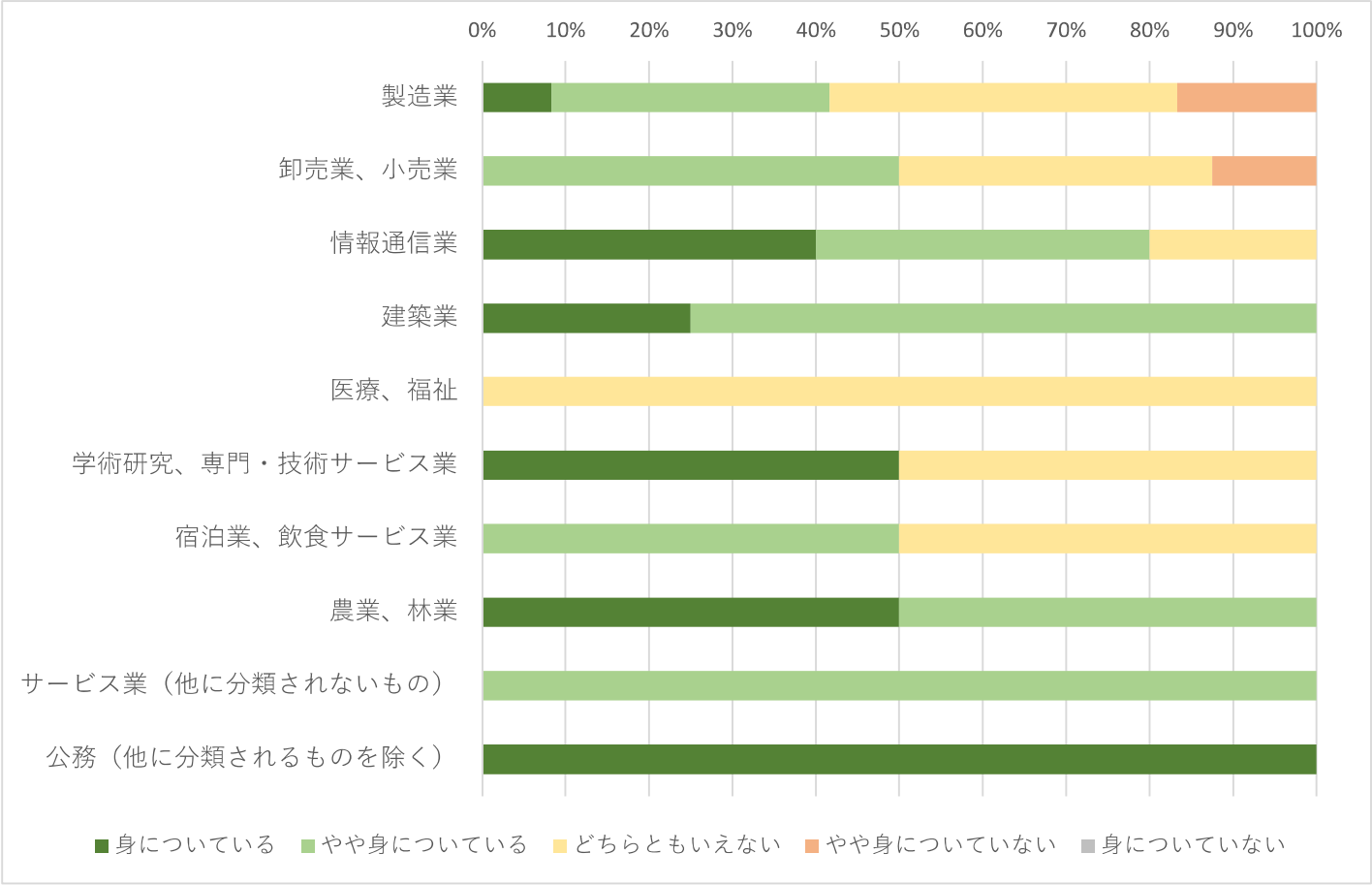
項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
製造業	7社	4社	1社			12社
卸売業、小売業	4社	2社	2社			8社
情報通信業	2社	3社				5社
建築業	3社	1社				4社
医療、福祉		3社				3社
学術研究、専門・技術サービス業	1社	1社				2社
宿泊業、飲食サービス業	2社					2社
農業、林業	1社	1社				2社
サービス業（他に分類されないもの）		1社				1社
公務（他に分類されるものを除く）	1社					1社
合計	21社	16社	3社	0社	0社	40社
比率	52.5%	40.0%	7.5%	0.0%	0.0%	100.0%

Q1. G : 文章表現力・数的処理能力（業種別傾向）



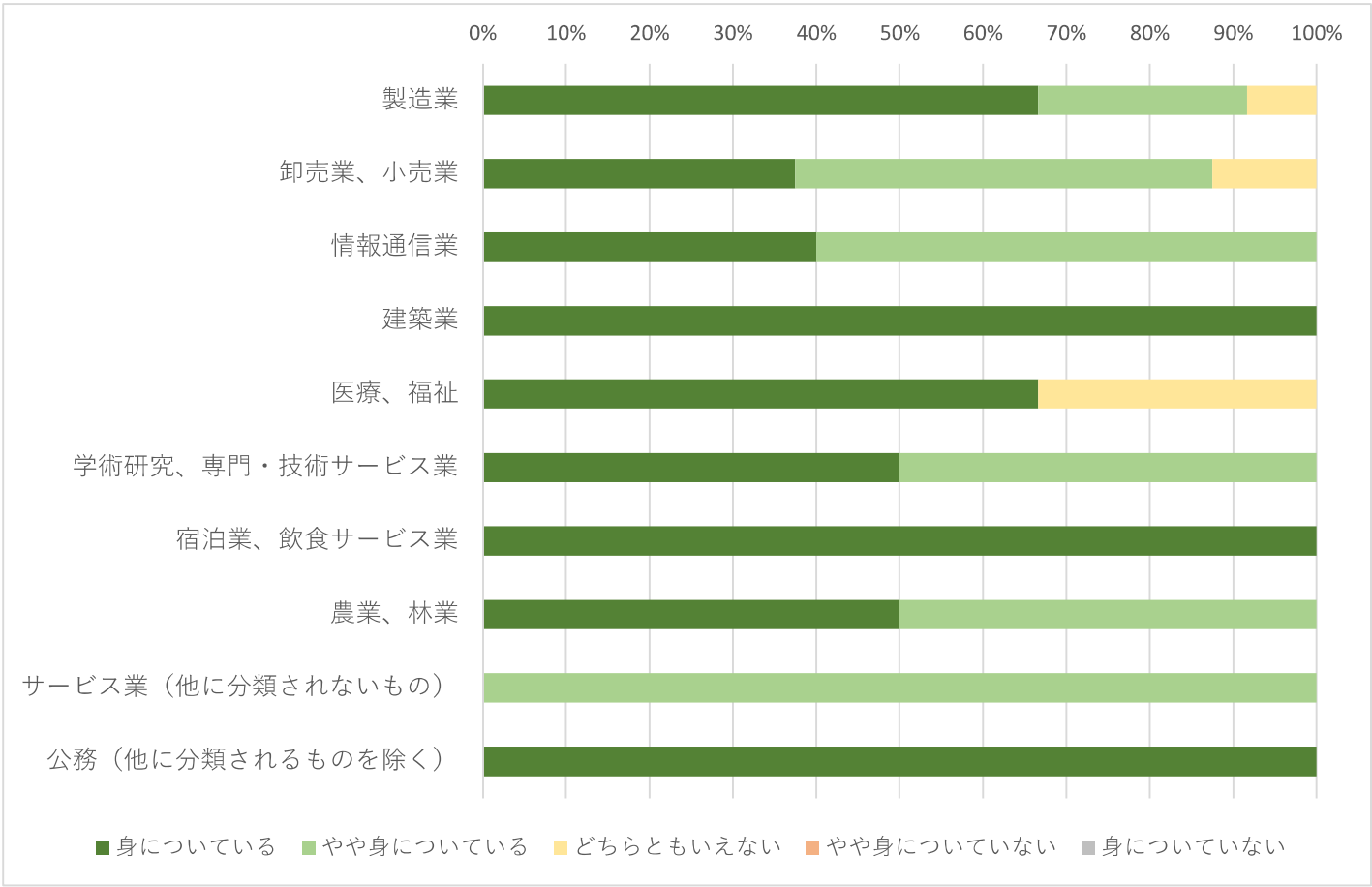
項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
製造業	5社	6社	1社			12社
卸売業、小売業	1社	2社	5社			8社
情報通信業	2社	3社				5社
建築業	3社	1社				4社
医療、福祉	1社	2社				3社
学術研究、専門・技術サービス業	2社					2社
宿泊業、飲食サービス業	2社					2社
農業、林業	2社					2社
サービス業（他に分類されないもの）		1社				1社
公務（他に分類されるものを除く）	1社					1社
合計	19社	15社	6社	0社	0社	40社
比率	47.5%	37.5%	15.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q1. H：情報通信技術（ICT）活用力（業種別傾向）



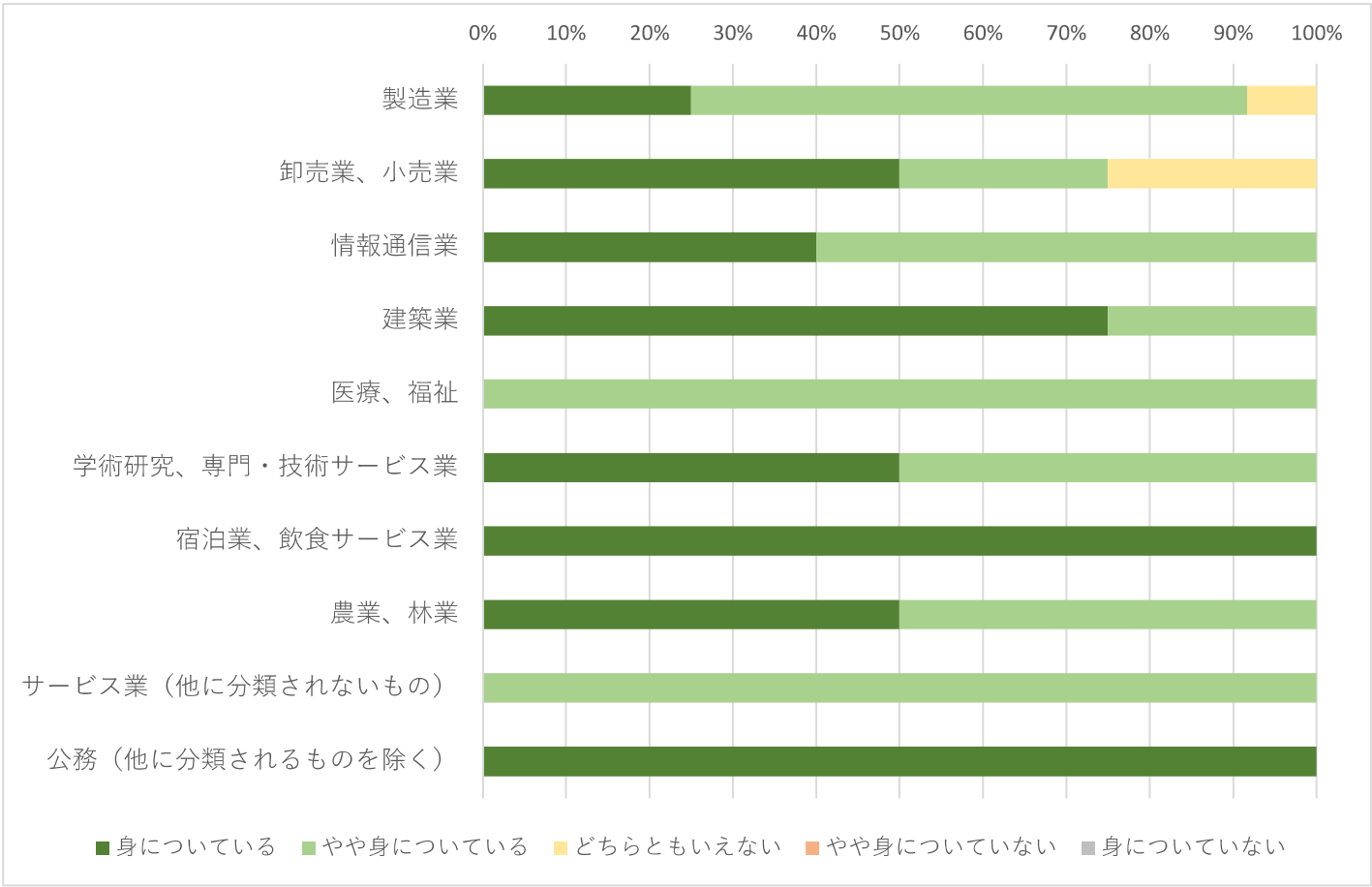
項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
製造業	1社	4社	5社	2社		12社
卸売業、小売業		4社	3社	1社		8社
情報通信業	2社	2社	1社			5社
建築業	1社	3社				4社
医療、福祉			3社			3社
学術研究、専門・技術サービス業	1社		1社			2社
宿泊業、飲食サービス業		1社	1社			2社
農業、林業	1社	1社				2社
サービス業（他に分類されないもの）		1社				1社
公務（他に分類されるものを除く）	1社					1社
合計	7社	16社	14社	3社	0社	40社
比率	17.5%	40.0%	35.0%	7.5%	0.0%	100.0%

Q1. I：チームワーク（業種別傾向）



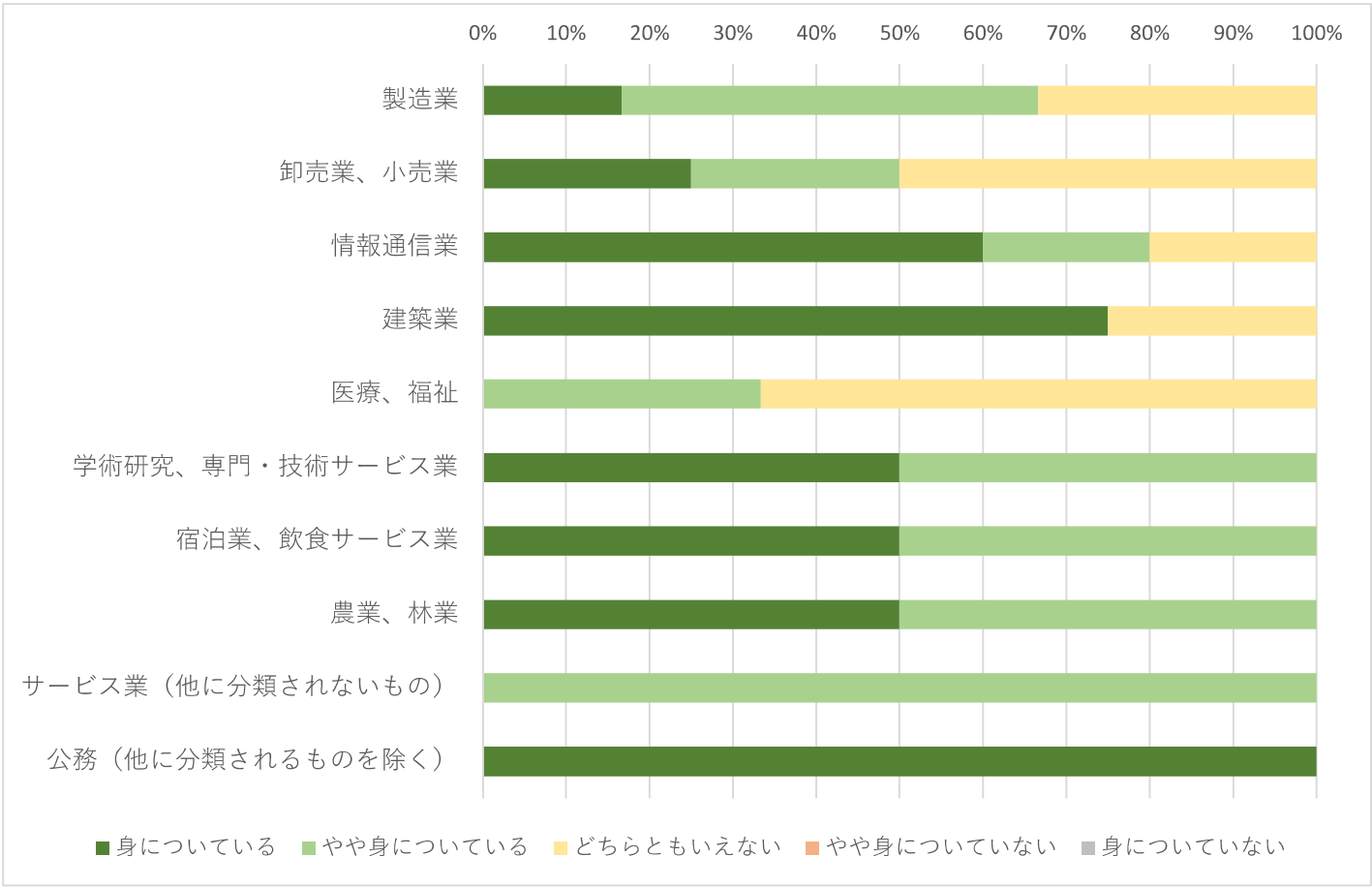
項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
製造業	8社	3社	1社			12社
卸売業、小売業	3社	4社	1社			8社
情報通信業	2社	3社				5社
建築業	4社					4社
医療、福祉	2社		1社			3社
学術研究、専門・技術サービス業	1社	1社				2社
宿泊業、飲食サービス業	2社					2社
農業、林業	1社	1社				2社
サービス業（他に分類されないもの）		1社				1社
公務（他に分類されるものを除く）	1社					1社
合計	24社	13社	3社	0社	0社	40社
比率	60.0%	32.5%	7.5%	0.0%	0.0%	100.0%

Q1. J：一般的知識・幅広い教養（業種別傾向）



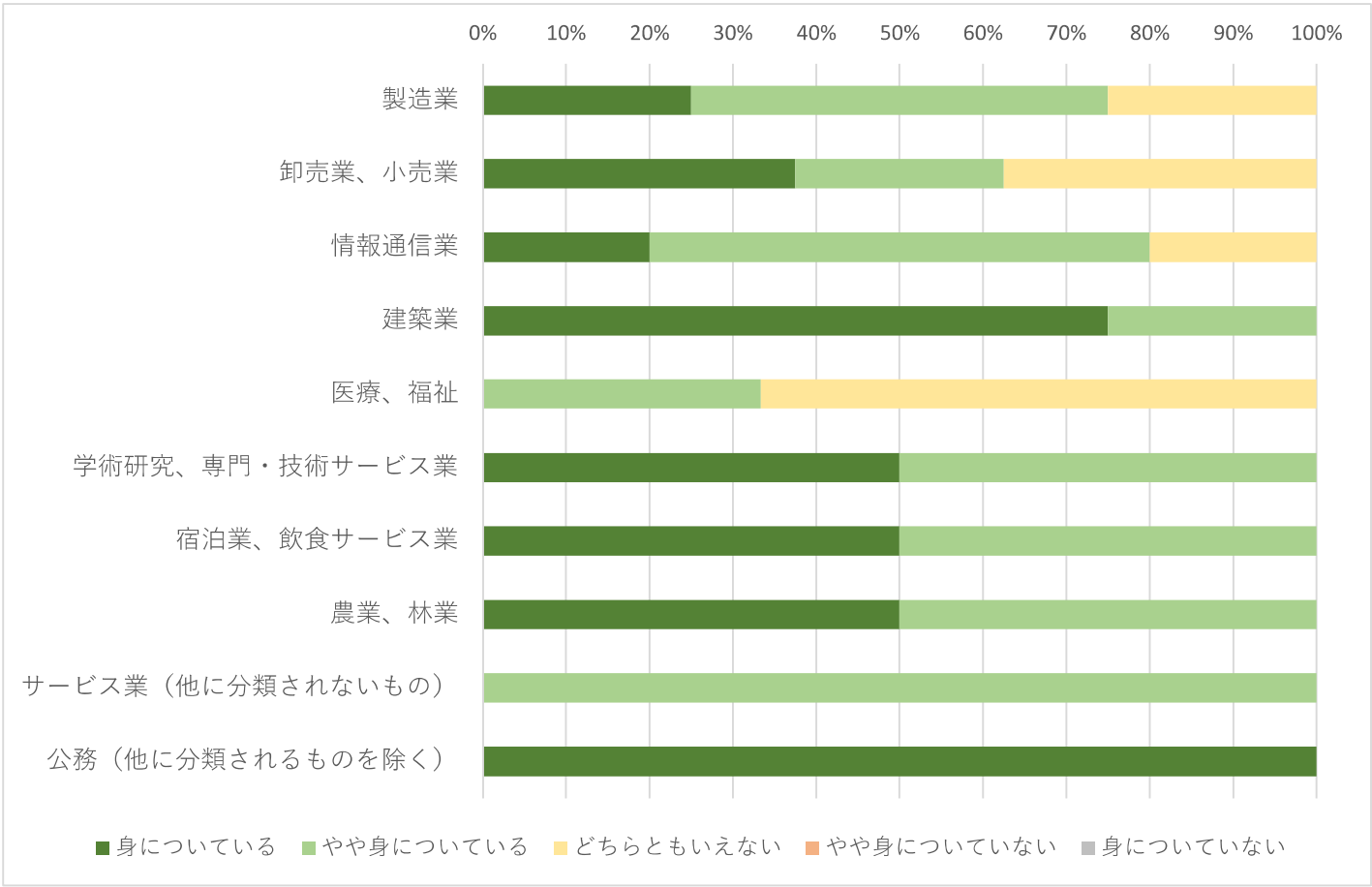
項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
製造業	3社	8社	1社			12社
卸売業、小売業	4社	2社	2社			8社
情報通信業	2社	3社				5社
建築業	3社	1社				4社
医療、福祉		3社				3社
学術研究、専門・技術サービス業	1社	1社				2社
宿泊業、飲食サービス業	2社					2社
農業、林業	1社	1社				2社
サービス業（他に分類されないもの）		1社				1社
公務（他に分類されるものを除く）	1社					1社
合計	17社	20社	3社	0社	0社	40社
比率	42.5%	50.0%	7.5%	0.0%	0.0%	100.0%

Q1. K：統計分析・数値的分析力（業種別傾向）



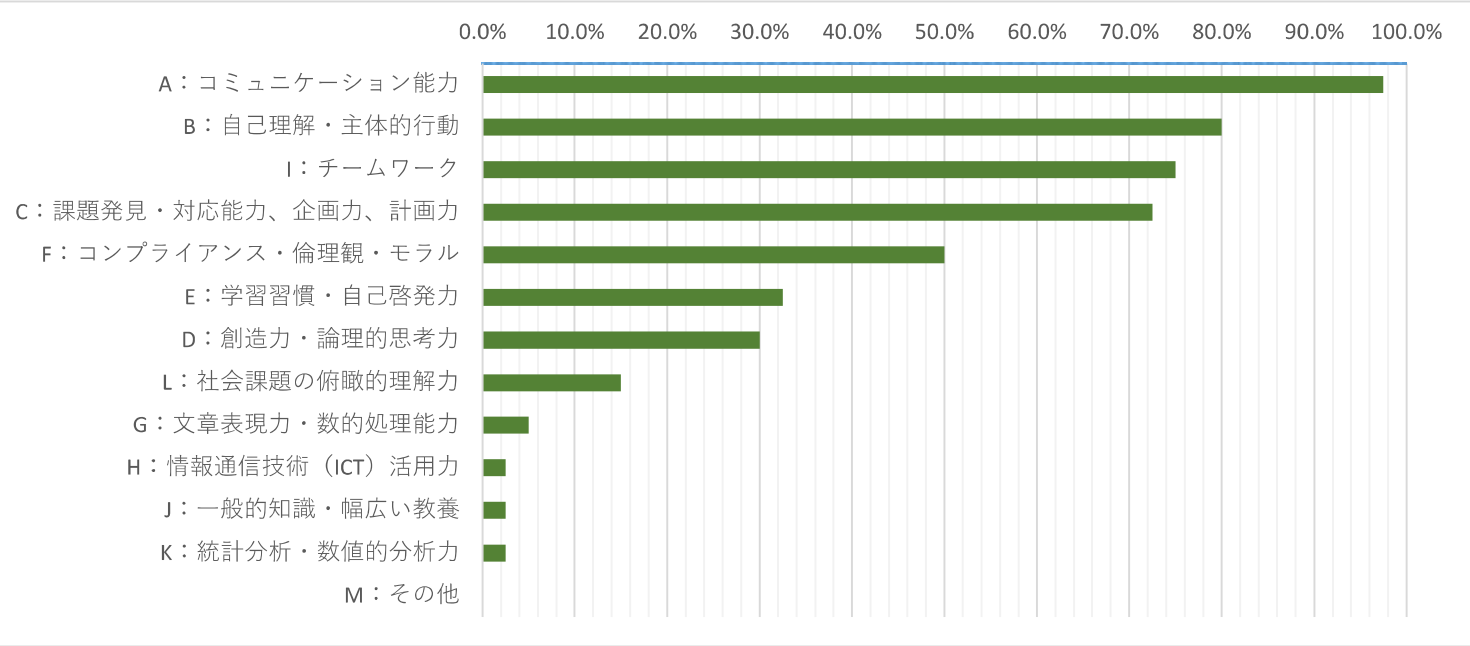
項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
製造業	2社	6社	4社			12社
卸売業、小売業	2社	2社	4社			8社
情報通信業	3社	1社	1社			5社
建築業	3社		1社			4社
医療、福祉		1社	2社			3社
学術研究、専門・技術サービス業	1社	1社				2社
宿泊業、飲食サービス業	1社	1社				2社
農業、林業	1社	1社				2社
サービス業（他に分類されないもの）		1社				1社
公務（他に分類されるものを除く）	1社					1社
合計	14社	14社	12社	0社	0社	40社
比率	35.0%	35.0%	30.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q1. L：社会課題の俯瞰的理解力（業種別傾向）



項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
製造業	3社	6社	3社			12社
卸売業、小売業	3社	2社	3社			8社
情報通信業	1社	3社	1社			5社
建築業	3社	1社				4社
医療、福祉		1社	2社			3社
学術研究、専門・技術サービス業	1社	1社				2社
宿泊業、飲食サービス業	1社	1社				2社
農業、林業	1社	1社				2社
サービス業（他に分類されないもの）		1社				1社
公務（他に分類されるものを除く）	1社					1社
合計	14社	17社	9社	0社	0社	40社
比率	35.0%	42.5%	22.5%	0.0%	0.0%	100.0%

Q2. (A) ～ (M) の能力・資質のうち、貴社・貴団体にとって必要とお考えになるものについて、5つお選びください。



項目	合計	比率
A：コミュニケーション能力	39社	97.5%
B：自己理解・主体的行動	32社	80.0%
I：チームワーク	30社	75.0%
C：課題発見・対応能力、企画力、計画力	29社	72.5%
F：コンプライアンス・倫理観・モラル	20社	50.0%
E：学習習慣・自己啓発力	13社	32.5%
D：創造力・論理的思考力	12社	30.0%
L：社会課題の俯瞰的理解力	6社	15.0%
G：文章表現力・数的処理能力	2社	5.0%
H：情報通信技術（ICT）活用力	1社	2.5%
J：一般的知識・幅広い教養	1社	2.5%
K：統計分析・数値的分析力	1社	2.5%
M：その他	0社	0.0%

- ・各項目を選択された割合順に並び変えたところ、最も多くの企業様から選択されたのは『A：コミュニケーション能力』39社（97.5%）
- ・次いで『B：自己理解・主体的行動』32社（80.0%）『I：チームワーク』30社（75.0%）『C：課題発見・対応能力、企画力、計画力』29社（72.5%）が上位を占めた。
- ・逆にあまり重視されなかったのは『H：情報通信技術（ICT）活用力』『J：一般的知識・幅広い教養』『K：統計分析・数値的分析力』各1社（2.5%）
- ・業種によっても、重視する項目に傾向の違いあり
- 製造業 …『F：コンプライアンス・倫理観・モラル』（66.7%）
- 卸売業、小売業 …『C：課題発見・対応能力、企画力、計画力』（87.5%）
- 医療、福祉 …『C：課題発見・対応能力、企画力、計画力』『F：コンプライアンス・倫理観・モラル』（100.0%）

Q3.本学の教育に対する、要望や改善点、在学生に期待することなどをご記入ください。

製造業
引き続き農業分野への高い専門性を磨いていただけると幸いです。
食品分野、モノづくりへの興味
総じて真面目でいい子という印象です。言われたことはきっちり対応できる方がほとんどですが、自発的行動が少なかったり、失敗したくないという意識が強い傾向がみられます。 ※貴学生だけでなく学生全般 今の子達は、答えがすぐに見える環境にあるため、わからなければ答えをすぐに確認するという習慣が自然についてしまっていると思います。「自ら考える」ということは非常に大事な教育ではないか と思います。
日本だけでなく世界の食・農業を支えていきたい。そんな目標を掲げる学生様と出会い、引き続き素 敵なご縁を作れましたら幸いです。
農場実習など色々な実体験をして経験を増やして頂ければと思います。
主体性を伸ばしていただきたいです。
弊社サラダクラブはキューピーと三菱商事の合併会社で日本でいち早くパッケージサラダの製造販売 に着手した会社です。ポストハーベスト学科馬場先生には昨年12月に遠州工場に研究室学生39名連 れて見学に来て頂きました。野菜を扱っておりますので、その他の学部とも交流を深めて採用に繋が る取組を希望しております。弊社の工場見学を希望される学部がありましたら是非とも紹介頂ければ 有難い限りです。連絡をお待ちしております。
毎年、貴校の多くの学生様にご応募いただいております。 誠にありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。
卸売業、小売業
食への関心を忘れずに色々な角度から学んでほしいと思います。
貴学の学生は主体性が高く、今後は多様な価値観や実社会との接点を通じて、 柔軟な思考力と発信力をさらに高めていかれることを期待しています。
食に対する知識が豊富。知識を活かした上での発信を期待したい
第1次産業をかかわりの多い貴校では生産・流通・それにかかわる研究を通して、 答えのない社会課題に対して解決策を模索し続けられる人材に期待をします。
令和7年度も貴学卒業生に入社いただきました。以降もご縁を繋いでいけたらと考えております。引 き続き、幅広い興味を持った学生さまと出会えることを楽しみにしております。今後とも、よろしく お願いいたします。
令和6年度で入社された方が1名おりましたが、1年以内に退職された為、能力、資質はどちらともい えない、を選択させていただきました旨、ご了承ください

Q3.本学の教育に対する、要望や改善点、在学生に期待することなどをご記入ください。

情報通信業
働くための業界や仕事内容について理解を深めることを期待します。
2024年に入社し大活躍しております。
貴校学生は学習意欲がとても高い印象にあります。 社会人としてのコミュニケーション力は、業界問わず共通に必要なスキルと考えていますので、是非在学中には同世代のみならず、どのような方とでも積極的にコミュニケーションを取る機会があると良いと思います。
非常に活躍していただいております。
建築業
OB・OGの活躍に感謝申し上げます。 今後も継続した造園人材の輩出にご期待申し上げます。
毎年1名以上の入社を期待しています。
他責ではなく、自分以外の人立場になって考えられることができる 思いやりのある人物。
医療、福祉
昨年度1名総合職として採用させていただきありがとうございました 残念ながら年度内に退職となってしまったことを残念に思っております その際、感じたことは社会人としての基礎体力が無い方であったという印象です 社会は大学卒業まで経験してきたことよりはるかに厳しい環境だということを 早い段階から教えていただけたらありがたいと感じました
管理栄養士課程の方のみの採用となっています。 他専攻学科の方のご様子もうかがいたいところです。
貴校卒業生は定着率が高く、主体的に業務に取り組む方が多いです。 引き続きよろしくお願いいたします。

Q3.本学の教育に対する、要望や改善点、在学生に期待することなどをご記入ください。

宿泊業、飲食サービス業
弊社では主体的、向上心の高い学生様を期待しております。 引き続き、何卒よろしくお願いいたします。
農業、林業
農業に対する興味、関心の高さ。契約栽培生産者と共に歩む姿勢。自然・栽培進捗を論理的・定量的に 予測していく力。
学術研究、専門・技術サービス業
幅広い年代とのコミュニケーション力に期待しています。
チャレンジ精神を持ち、主体的に行動できることを期待します。
サービス業（他に分類されないもの）
今年の新入社員として2名の卒業生に入社いただきました。 専門知識は入社後の研修で身に付けられますので、 学生時代は研究活動に是非全力で取り組み、様々な経験を積んでほしいです。 英語に関しての資格をお持ちでない方も多いため、 TOEICや英検などスコアの記載をいただくとアピールになるかと思います。
公務（他に分類されるものを除く）
問4.A～15.Lにつきまして、採用した個々の職員についての評価は 公表しておりませんので、ご了承くださいますようお願い申し上げます。 職員採用試験により、本市が求める能力を持った方を採用できているものと 考えております。